

(様式第10)

東邦大森院(総)第3-50号

令和 4年 10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人東邦大学

理事長 炭山 嘉伸

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
氏名	学校法人東邦大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東邦大学医療センター大森病院

3 所在の場所

〒143-8541 東京都大田区大森西6丁目11番1号
電話(03) 3762-4151

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科								有
内科と組み合わせた診療科名等								
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科			4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科			8代謝内科
	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			<input checked="" type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績								

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	脳神経内科	3	形成外科	4	美容外科	5	性病科
6	肛門科	7	気管食道科	8	リハビリテーション科	9	病理診断科	10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位: 床)
36				880	916	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	253	198	431.2
歯科医師	3	4	6.6
薬剤師	68	3	70
保健師	262	0	262
助産師	75	0	75
看護師	701	12	708.6
准看護師	3	0	3
歯科衛生士	5	2	5.2
管理栄養士	17	0	17

職種	員数
看護補助者	7
理学療法士	15
作業療法士	6
視能訓練士	8
義肢装具士	0
臨床工学士	22
栄養士	1
歯科技工士	0
診療放射線技師	59

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	95
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	6	
その他の技術員	58	
事務職員	130	
その他の職員	15	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	48	眼科専門医	11
外科専門医	45	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	10	放射線科専門医	9
小児科専門医	22	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	12
泌尿器科専門医	17	麻酔科専門医	9
産婦人科専門医	20	救急科専門医	7
		合計	232

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (瓜田純久) 任命年月日 令和 3 年 7 月 1 日

セイフティーマネジャー 平成19年4月～平成22年1月。
 医療の質会議への出席、医療安全管理委員会・安全管理対策委員会への助言。
 管理者任期は1期3年間で、令和4年10月1日現在で管理者は2期目の2年目。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	714.9 人	3.6 人	718.5 人
1日当たり平均外来患者数	2032 人	50.8 人	2082.9 人
1日当たり平均調剤数	1,078.7(入院:942.6剤、外来:136.1剤)		剤
必要医師数	190.96		人

必要歯科医師数	4	人
必要薬剤師数	24	人
必要(准)看護師数	425.18	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	246.69 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	9床 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	有 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	㎡	病床数	床	
	[移動式の場合]	台数	7台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積		32.8	㎡	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	615.32 ㎡		(主な設備)	生化学検査装置		
細菌検査室	216.56 ㎡		(主な設備)	微生物検査装置・顕微鏡		
病理検査室	451.79 ㎡		(主な設備)	顕微鏡		
病理解剖室	93.84 ㎡		(主な設備)	解剖台		
研究室	74.93 ㎡		(主な設備)	クリーンベンチ・CO2インキュベーター		
講義室	342.56 ㎡		室数	1室	収容定員	198人
図書室	72.21 ㎡		室数	1室	蔵書数	1188冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	81.1	%	逆紹介率	67.3	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		21,704		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20,210		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,678		人
	D: 初診の患者の数		30,049		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
----	----	---------------	------	------	---------------

梅田 勝	東京工科大学医療保健 学部学部長(医師)	○	医療安全に係る安全管 理に関する識見を有す る者	無	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士(東京弁護士会)		法律に関する識見 を有する者	無	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
岩本 裕	HKチーフ・プロデューサ		医療メディアに関する識 見を有する者	無	医療を受ける者その他の医療 従事者以外のもの
高松 研	東邦大学 学長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学医学部 学部 長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
	(以下余白)				

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院のウェブサイトにて、規程等を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	心肺停止症例に対する対応及び蘇生後管理、治療	取扱患者数	100
当該医療技術の概要 東京消防庁のホットライン要請による病院前心肺停止例を24時間体制で受け入れ、二次救命処置による。蘇生術を行い心拍再開例については引続き集中治療を行い完全社会復帰を目標に行っている。低体温療法も適応によって導入している。			
医療技術名	急性肺障害に対するVV-ECMOを用いた管理、治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 人工呼吸器、呼吸理学療法を用いても改善不能な急性呼吸不全に対して、VV-ECMOによる支持療法で薬物療法を併行して行いながら重症ARDSに対して治療をおこなっている。COVID19流行に伴い昨年度より増加している。			
医療技術名	敗血症性ショック、心原性ショックにおける体外循環 (ECMO、IABP)	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 敗血症に対してはEGDTによるvolume resuscitationを行い加療している。カテコラミンに反応しない症例に対して機械的補助としてVA-ECMO(PCPS)を導入し治療をしている。また、急性冠症候群、難治性心室細動に対してPCPS、IABPを挿入しCAG、PCI、その後の集中治療管理につなげ社会復帰できるよう治療している。			
医療技術名	急性肺障害に対するCHDF療法	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 敗血症、アレルギー性肺臓炎、重症肺炎などに伴う呼吸不全に対しては根本的な原因に対する治療が必要であるが、呼吸不全の病態を増悪する humoral mediator や endtoxine などの吸着、除去を行いながら水分管理、腎不全管理を行えるCHDFを導入している。			
医療技術名	出血性ショックに対する血管内治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 不安定型骨盤骨折、外傷性脾損傷、腎損傷など外傷を主に血管内治療が可能な損傷に対して気管挿管し呼吸管理をしながら血管内治療を施行し、出血のコントロールをおこなっている。			
医療技術名	腹腔内出血及び骨盤骨折に対する大動脈遮断カテーテル管理	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 ショックを呈した横隔膜以下の外傷による出血性臓器損傷や腹部大動脈瘤破裂に対して血管内治療、手術に移行するまでのバイタル維持のために救急外来で挿入している。			
医療技術名	重症敗血症に対する病態対応、治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 重症敗血症治療は呼吸・循環管理、抗菌薬投与、血液浄化療法などの集学的治療を行う必要がこの重症敗血症の患者血清から急性酸化ストレスマーカーを測定			
医療技術名	急性薬物中毒における管理、治療	取扱患者数	80
当該医療技術の概要 一般中毒はもとより、自家製の青酸中毒キット、アセトアミノファン中毒キットを常備し、中毒物値をモニターしながら治療法を選択し、特殊な急性中毒に対処している。			
医療技術名	重症熱傷に対する管理、治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 BSA20%以上あるいは気道熱傷合併症例など重症熱傷に対して就学的な治療をおこなっている。初期よりデブリドマンを施行し自家皮膚培養も積極的におこない治療をおこなっている。			
医療技術名	直腸癌に対するロボット支援手術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 直腸癌に対するロボット(ダビンチ)支援手術は保険適応となっているが、まだまだ実施施設は多くない。			
医療技術名	腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 当該医療技術の概要:肝疾患に対する腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)は厳格な施設基準の下、術前の前向き症例登録を行うことでの施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。			
医療技術名	腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)	取扱患者数	2

当該医療技術の概要 当該医療技術の概要: 当該医療技術の概要: 膵臓癌に対する腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)は厳格な施設基準の下、施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。			
医療技術名	低位直腸癌に対する腹腔鏡下taTME	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 直腸癌に対する手術手技には骨盤腔における解剖学的なアプローチの困難さがあり、腹腔鏡の導入で視野展開の向上がみられるものの、腹側からの操作だけでは直腸の全腸間膜切除に難渋することもある。taTME手技は経肛門操作により肛門側から直腸・直腸間膜を剥離することができる手術手技である。taTME手技の認知度は高くなったが、まだ全国的に一般化した手技には至っていない。病勢の比較的軽い方が対象となるが、当院では肛門操作先行による直腸の離断に続いて直腸側の剥離をすすめることが多く、このことがさらに自然肛門温存に寄与できると考えている。			
医療技術名	胃癌に対するロボット支援手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 胃癌に対するロボット(ダビンチ)支援手術は保険適応となっているが、まだまだ実施施設は多くない。保険内実施の許可は研修プログラムを終了した医師による10例の経験が必要である。当院では2022年度中に保険内実施認定が許可されるように慎重に進めている。			
医療技術名	食道癌に対するロボット支援手術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 食道癌に対するロボット(ダビンチ)支援手術は保険適応となっているが、まだまだ実施施設は多くない。2021年度は胸腔鏡下食道切除26例、ロボット支援下手術を6例行った。			
医療技術名	冠動脈インターベンション	取扱患者数	393
当該医療技術の概要 冠動脈インターベンション(PCI)は、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の中心的治療法であり、特に急性心筋梗塞では本治療法による迅速な血流再開が必要である。冠動脈内に筒状の金属を留置する方法であり数種類のステントが臨床使用されている。加えて、血栓吸引療法やロータブレードなどの高度な治療法も数多く行っている。			
医療技術名	経皮的血管形成術	取扱患者数	168
当該医療技術の概要 末梢血管にステントを留置して血行再建を行う方法であるが、ステント留置に適さない病変に対してはバルーンによる血管拡張を行っている。下肢動脈が主な対象となるが、その他に鎖骨下動脈や腎動脈などの末梢動脈に対しても同治療を行っている。末梢動脈内に留置する筒状の金属は、数種類のステントが臨床使用されている。			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVI)	取扱患者数	29
当該医療技術の概要 重症の動脈弁狭窄症に対する治療としては、これまで開胸による弁置換術が広く行われてきた。しかし、高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、カテーテルを用い動脈弁を留置する方法である。これが経皮的動脈弁置換術(TAVI)である。主に高齢で手術適応とならない症例に対して行われている。			
医療技術名	経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 重症の僧帽弁閉鎖不全症に対する治療としては、これまで開胸による弁置換術が広く行われてきた。しかし、高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、カテーテルを用いクリップで2つの僧帽弁をはさみ、弁逆流を軽減させる方法である。これが経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)である。主に高齢で手術適応とならない症例に対して行われている。			
医療技術名	カテーテルアブレーション	取扱患者数	342
当該医療技術の概要 経皮的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、体表に装着した対極板との間で高周波通電することで、頻拍の原因となる異常興奮発生部位、異常興奮回路・伝導路を選択的に焼灼する治療法である。心房細動、心房粗動、発作性上室頻拍、心室頻拍など頻脈性不整脈に対する根治目的で実施している。現在では、クライオ(冷凍凝固)やレーザーなどの新しいエネルギーを用いた治療法も数多く施行している。			
医療技術名	植込み型除細動器手術(ICD・S-ICD)	取扱患者数	26
当該医療技術の概要 心室細動や心室頻拍などの心室性不整脈による心臓突然死の予防目的で用いられる。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。現在では皮下植込み型の除細動器(S-ICD)もある。これは、前胸部の皮下に除細動リードを植込む。心肺蘇生経験例のみならず、心臓突然死の危険性があると判断された患者においても使用されている。			

医療技術名	心臓再同期療法手術(CRT・CRT-D)	取扱患者数	14
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性の重症心不全患者に対して適応があり、心機能の改善目的で使用される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。同時に不整脈性の心臓突然死をきたす可能性がある患者では、除細動機能付きのデバイス(CRT-D)も使用されている。			
医療技術名	左心耳閉鎖デバイス(Watchman)留置術	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 心房細動患者では、左心耳に血栓が形成され、それが遊離することで、重篤な心原性脳塞栓症を発症する。通常は、経口抗凝固薬を投与して予防するが、出血傾向の高い患者においては、長期に渡って経口抗凝固薬服用することができない。そのような患者において、左心耳閉鎖デバイス(Watchman)が使用されている。			
医療技術名	経カテーテル的大動脈弁置換術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 超高齢者、重度基礎疾患、胸部大動脈高度石灰化を有するなど、人工心肺を用いた通常の開胸手術に耐えられない症例に対し、人工心肺を用いず鼠径部の動脈を経由し経カテーテル的に行う大動脈弁置換術。			
医療技術名	複雑心奇形に対する低侵襲外科手術	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 重度心不全状態の複雑心奇形症例に対し、小切開および充填量が極めて少ない人工心肺装置を用いて生体侵襲を低減し、手術成績の向上を図っている。			
医療技術名	新生児重症心疾患の内科的管理及び外科治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGE1製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している。			
医療技術名	胸腔鏡補助下弁手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 胸腔鏡補助下右開胸による心臓弁手術は、従来の胸骨正中切開に比べ、傷口が目立たない、剥離が少ないので出血が少ない、縦郭洞炎のリスクがない、在院日数が短い、退院後の活動制限が少ない、早期社会復帰が可能になるなどの優位性がある。僧帽弁手術、大動脈弁手術の単弁手術で複合手術を伴わない症例や、心房に存在する心臓腫瘍に適応される。			
医療技術名	補助循環用ポンプカテーテル	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 補助循環用カテーテルは左室内にカテーテルを留置し、左室からの血液を大動脈から全身に順行性に拍出することができる。そのため、人工心肺と同等の循環補助機能を持ち、かつ、心負荷軽減および心機能改善を期待することができ、心原性ショックを伴う重症心不全が適応となっている。			
医療技術名	経皮的僧帽弁クリップ術(Mitraclip)	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 心不全を呈する重度の僧帽弁閉鎖不全症を有し外科的手術を施行することができず、Mitraclipによる治療が最善と判断された患者に施行する。対象は左室駆出率が20%以上の重度の僧帽弁閉鎖不全の患者である。			
医療技術名	気管支凍結生検(クライオ生検)	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 凍結生検(クライオ生検)とは、凍結剤(二酸化炭素)で冷却したプローブを肺組織に接触させることにより、気管支・肺抹消組織及び、気管支内の異物を凍結させ、組織の採取及び異物除去を行うことができます。			
医療技術名	気道狭窄に対するステント療法	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 気管・気管支の腫瘍性あるいは炎症性狭窄に対する内視鏡下ステント療法である。			
医療技術名	COPD合併肺癌に対する手術療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 一般に積極的治療対象とならない重症COPD合併肺癌に対し、肺切除術を安定して行っている。			
医療技術名	間質性肺炎合併肺癌に対する手術療法	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 一般に積極的治療対象とならない間質性肺炎合併肺癌に対し、肺切除術を安定して行っている。			

医療技術名	フラッシュ血糖モニターFGM (Flash Glucose Monitoring)	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 インスリンを持続的に注入し、同時にグルコースを注入し続けて、肝臓や筋肉のインスリン抵抗性(感受性)を調べる検査。			
医療技術名	SAP (Sensor Augmented Pump) 療法	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 パーソナル持続血糖モニター機能を搭載したインスリンポンプ療法で、低血糖が予想された際にインスリン基礎注入を自動的に中断したり再開できるシステム。			
医療技術名	選択的副腎静脈サンプリング法	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 副腎静脈サンプリングの際に副腎内支脈別採血により、原発性アルドステロン症をより精確に診断できる技術。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 再発・難治性の多発性骨髄腫や悪性リンパ腫症例に対し、さらなる治療効果の向上を目指すには強力な化学療法が必要となる。しかし、化学療法の有害事象として代表的な骨髄毒性による血球減少が問題となる。そこで、あらかじめ化学療法、顆粒球コロニー刺激因子やプレリキサホルなどの前処置を実施したうえで体外循環により造血幹細胞を採取し、その後に無菌室入室の上、大量化学療法を実施。その後に採取した幹細胞を戻し造血機能の回復を図る手技である。			
医療技術名	関節リウマチ及び膠原病に対する免疫抑制薬の適正使用	取扱患者数	700
当該医療技術の概要 種々の免疫抑制薬が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、血管炎症候群などの膠原病に対して使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。			
医療技術名	関節リウマチ及び膠原病諸疾患に対する生物学的製剤の適正使用	取扱患者数	450
当該医療技術の概要 TNF阻害薬などの生物学的製剤が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群、ベーチェット病、成人発症Still病、強直性脊椎炎などの膠原病諸疾患に使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。			
医療技術名	新生児の体腔穿刺	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 新生児気胸に対する脱気、胸水腹水に対するドレナージ治療を行った			
医療技術名	新生児重症心疾患の内科的管理及び外科的治療	取扱患者数	23
当該医療技術の概要 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGEI製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している			
医療技術名	新生児遷延性肺高血圧症における一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 新生児遷延性肺高血圧症に対し、微量のNOガスを投与した			
医療技術名	肺サーファクタント補充療法	取扱患者数	38
当該医療技術の概要 新生児呼吸窮迫症候群に対し、気管内人工肺サーファクタント補充療法を行った			
医療技術名	気管支肺異形成症・気胸予防に対する高頻度振動換気療法	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した			
医療技術名	未熟児動脈管開存症に対する薬物的閉鎖療法	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 未熟児動脈管開存症に対し、心エコー検査で評価した後イブプロフェン、インドメタシン静注療法で閉鎖させた			

医療技術名	臍動静脈カテーテルによる循環の管理	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した			
医療技術名	新生児重症外科的疾患の治療並びに管理	取扱患者数	25
当該医療技術の概要 先天的奇形に基づく、新生児の消化器、呼吸器、体壁などの重症疾患を手術的に救命し、術後の管理を行う			
医療技術名	水頭症に対するリザーバ留置術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 出血後水頭症に対し、リザーバ留置による治療を行った			
医療技術名	中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)による高カロリー輸液	取扱患者数	52
当該医療技術の概要 中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)を挿入し、高カロリー輸液を実施することにより、低栄養状態を改善させた			
医療技術名	未熟児網膜症に対するレーザーによる光凝固療法・眼内抗VGF抗体注射	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 重症の未熟児網膜症に対し、眼科と協力してレーザーによる光凝固療法を実施して、失明を予防した			
医療技術名	重症新生児仮死例に対する低体温療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 重症仮死例に早期より低体温療法を行い予後の改善をはかる			
医療技術名	胎児(心臓)超音波検査	取扱患者数	189
当該医療技術の概要 胎児心臓超音波検査などにより 正確な胎内診断に基づく出生後の管理につなげた			
医療技術名	低酸素吸入療法(窒素ガス)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 肺高血流疾患の術前管理として当該療法により、肺うっ血の進行をコントロールし、術前状態を最適化した。			
医療技術名	経胎盤的胎児不整脈治療	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 厚労省認定の当該技術により重症胎児不整脈(頻脈性及び徐脈性)を胎内で治療し、その予後改善につなげた			
医療技術名	aEEG(長時間脳波)による新生児けいれんの記録解析	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 重症新生児仮死や新生児けいれんに対して発作型や治療効果判定に応用した			
医療技術名	当該医療技術の概要:筋萎縮性側鎖硬化症患者に対するロボットリハビリ(HAL)	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 2018年8月より、筋萎縮性側索硬化症ならびに球脊髄性筋萎縮症患者に対してhybrid assisted limb (HAL)というサイボーグ治療をリハビリテーション科と共同で行っている。			
医療技術名	レボドパ・カルビドパ配合経腸用液の経胃瘻空腸投与	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 パーキンソン病患者に対して、レボドパ・カルビドパ水和物製剤を経胃瘻空腸投与することを目的とした、経鼻栄養・薬剤投与チューブ挿入術、薬剤投与用胃瘻造設術、およびチューブ交換時の経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法			

医療技術名	生体腎移植	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 高齢者および既存抗体陽性の生体腎移植は増加し、より繊細な術前術後準備を必要とする。			
医療技術名	血液型不適合腎移植	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 ABO血液型不適合腎移植は1989年に初回実施(東邦、女子医、佐賀、大阪大学)し、脾摘、血漿交換の時代を経て、普遍的になった。しかしなお、抗体除去 リツキサン術前処置必要な高度医療である			
医療技術名	小児腎移植	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 当科は全国で一番の小児腎移植数を誇る。小児科 小児外科 泌尿器科のエキスパートを講座に備え、術前多職種カンファも充実して、これに備えている。			
医療技術名	Early Psychosis Unit (イルボスコ)	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 既存の統合失調症の診断基準において、陽性症状が出現した時期が発症の時期とされている。しかし、その数年前からすでに社会機能の低下や陰性症状、さらには、脳の形態学的変化も生じることが知られている。そのため、近年、精神病前駆状態や病前期についてのサブクリニカル水準での介入が必要であると考えられている。当院イルボスコでは日本国内で、他に先駆け早期介入を行い対象者の精神病発症の予防や援助を行っている。			
医療技術名	クロザピン処方	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対し極めて有用な治療法であるが、血球障害や心筋炎をはじめとする重篤な副作用が起きる可能性も極めて高い。したがって、高度なスキルを有する精神科医のみならず、血液内科医、糖尿病専門医が居り、互いに密な連携が可能な医療機関でのみ処方が許可されている。当科ではこれらの診療科と連携し治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンの処方を行っている。			
医療技術名	修正型電気痙攣療法	取扱患者数	202
当該医療技術の概要 電気けいれん療法は、前頭部に通電することで人為的にけいれん発作を誘発する治療法である。電気療法は薬剤抵抗性のうつ病などに対して極めて有効であるが、けいれん発作による、循環状態への影響や骨折の影響が生じる恐れがある。そのため当科では、麻酔科と協力し麻酔下で人工呼吸等を含めた呼吸管理、循環動態の観察を行いながら安全に通電する修正型電気けいれん療法を行っている。			
医療技術名	三次救急対応となった身体合併症を有する精神疾患患者への対応	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 精神疾患患者に重篤な身体合併症が生じ、三次救急対応が必要となる場合がある。その際には、急性期の精神症状への治療介入が可能な精神科と、迅速にあらゆる身体合併症に対し高度な治療を行うことができる診療科が、緊密に連携して治療を行う必要がある。都内でも三次救急対応となった精神疾患を有する患者へ即応できる医療機関は極めて限られている。当科においては、都内の広範な地域の、三次救急対応を必要とする身体合併症を有する精神疾患患者への対応を行っている。			
医療技術名	新生児先天性心疾患の内科的管理および外科的治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 新生児期に発症する重症先天性心疾患においては、適切な時期に手術を行うことが可能となるように、より専門的な内科管理が必要である。新生児に対する外科治療では、手術の難易度が高いだけでなく、術中の麻酔も含め、幼児以降の小児患者よりも綿密な管理が必要となってくる。術後においても新生児の未熟性のために回復が遅く急激な悪化を示すことが多いため、リスクを回避するために専門医による管理が必須である。			
医療技術名	肺高血圧症における一酸化窒素療法	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 高度の肺高血圧を伴う先天性疾患において、術後に肺高血圧クリーゼを来すことがある。この発作は致命的な状態であり、一旦発症すると回復することが困難となる。術後、このクリーゼ予防のため、血行動態をより安定化させる必要があり、一酸化窒素療法が重要な治療戦略の一つになっている。適切な投与量をモニタリングしながら、副作用に留意すべき治療であり、専門医による管理が必要である。			
医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル検査	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 小児の先天性心疾患では、体格が小さいことだけではなく、その解剖学的な複雑性から、カテーテル手技の難易度は極めて高い。アクセスする血管が細く、脆弱であるため、高度の技術を要する。また、検査中に呼吸状態や血行動態が不安定になるリスクが高いため、カテーテル術者だけでなく、看護師、技師を含めたチームでの管理が必要になってくる。			

医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 動脈管開存症、肺動脈弁狭窄、肺動脈狭窄などに対する、経皮的コイル塞栓術や経皮的バルーン拡張術を行っている。これらのカテーテル治療では、乳幼児の開心術を回避することができ、先天性心疾患の術後に残存した病変に対しても、再手術を回避することができる。しかし、技術的に難易度が高く、適切な手技と治療デバイスの選択が必要であり、専門医によってのみ行うことができる。			
医療技術名	肺高血圧症に対するEpoprostenol持続静注療法	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 小児期に発症した肺高血圧症に対して、Epoprostenol持続静注療法の使用経験は他の施設に比して、当院では多い。100万人に1-2人程度の発症率であるが、専門施設としてより多くの症例の経験を積んでいる。本治療にあたり、埋設型カテーテルの挿入が必要であるが、血行動態が不安定な場合、術中に急変するリスクが高い。このため、麻酔科、外科とも綿密な治療計画を立てて、手術にあたっている。持続静注の投与量に関しても副作用に留意しながら、症例毎に適切な投与量を設定する必要があり、専門医による管理が必要である。			
医療技術名	小児難治性白血病に対する集学的治療	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 小児白血病を含む小児がん患者に対して多剤併用化学療法を行う。治療は極めて強力であり、骨髄抑制をはじめとして多岐にわたる有害事象が確実に発生するため、これらへの対応が重要である。治療には小児外科、放射線科、脳神経外科、病理部などの協力が不可欠であり、これらの診療科とのカンファレンスを密に行い、最適な治療を行う。一部の患者では自家造血細胞移植も併用する。			
医療技術名	先天性甲状腺機能低下症の診断と治療	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 新生児マススクリーニングなどで発見された先天性甲状腺機能低下症の患者さんを対象としている。尿中ヨード測定で母体からのヨード過剰の有無、甲状腺超音波検査で形態異常、位置異常の有無を確認し、病態の把握を行っている。その後、成長発達に留意しながら、甲状腺ホルモンの補充療法を行っている。			
医療技術名	成長ホルモン治療	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 成長ホルモン治療の保険適応がある、成長ホルモン分泌不全、ターナー症候群、SGA性低身長症、軟骨異栄養症などの患者さんを対象にしている。必要に応じて、他のホルモン分泌不全の評価、成長ホルモン分泌刺激試験や、頭部MRI、合併する疾患の有無を確認した後、副作用などに留意して、成長ホルモン治療を行っている。			
医療技術名	三次元合成画像を用いた手術シミュレーション	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成し、各症例の手術方法に応じて、骨切りや脳のリトラクトを行い、術前手術シミュレーションを行った。これにより、手術操作の円滑化、他医師およびメディカルスタッフとの情報共有を図った。			
医療技術名	3Dプリンターによる実体モデルを用いた手術シミュレーション	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 当該医療技術の概要: 前述の三次元合成画像の作成方法と同様に、頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成したのち、頭蓋底腫瘍など、特に解剖学的所見の立体的特徴の把握が重要な症例には、3Dプリンターで実体模型を作製し、術前シミュレーションを行った。また、必要に応じて研究室内の手術用顕微鏡およびドリルを用いて、実際の手術手技を行った。			
医療技術名	術中脳機能モニタリング	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 当該医療技術の概要: 脳腫瘍や未破裂脳動脈瘤の手術のほとんどで、術中モニタリングとして、MEP, SEPを行った。また年間15例ほど手術を行っている脊髄腫瘍では、MEP, MEPとともに、積極的にBCRを行い、膀胱直腸障害のモニタリングを行った。			
医療技術名	神経内視鏡手術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 当該医療技術の概要: 神経内視鏡として硬性鏡、軟性鏡を用いて、下垂体腺腫の手術を行った。また、脳内血腫に対しても用いている。			
医療技術名	内視鏡下椎間板切除術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲手術をめざし、内視鏡視下にヘルニア腫瘍の摘出を行っている。			

医療技術名	脊椎固定術	取扱患者数	150
当該医療技術の概要 脊椎の変形が不安定性に対して、ケージとスクリューロッドを用いて脊椎を固定し、術前症状の改善を図っている。			
医療技術名	顕微鏡下椎間板ヘルニア摘出術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲化をめざし、顕微鏡視下にヘルニア腫瘍の摘出を行っている。			
医療技術名	コンピュータナビゲーションシステムの使用	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 脊椎インストルメンテーション手術時に個々に最も適したスクリューインプラントの設置を行うため、コンピューター計測をもとにスクリュー刺入を正確に行うためにナビゲーションシステムを使用している。			
医療技術名	自己血回収、輸血	取扱患者数	150
当該医療技術の概要 輸血をすることが予測される患者に対して、感染症の予防、輸血量削減を目的に手術中より自己血回収装置を使用している。人工関節置換術後のドレーン血も自己血回収装置を使用し回収しているが、有用な方法である。			
医療技術名	人工関節置換術	取扱患者数	300
当該医療技術の概要 膝、股、肩、足、肘関節の変形性変化による疼痛、可動域制限などに対して、QOLの向上を目的として人工関節置換術を行い良好な成績を得ている。			
医療技術名	関節リウマチに対する生物学的製剤治療	取扱患者数	180
当該医療技術の概要 関節リウマチの関節炎には炎症性サイトカイン(IL-1,IL-6,TNF- α 72など)が大きくかかわっていることが知られている。近年、関節リウマチの治療法として、これらの炎症性サイトカインに対する生物学的製剤が臨床応用されている。従来の抗リウマチ薬に抵抗性の関節リウマチ患者に対して生物学的製剤を用い治療している。			
医療技術名	歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 緩徐進行性の神経・筋疾患を対象に、生体信号反応式運動機能改善装置(Hybrid Assisting Limb)を使用し、歩行機能の改善を目的に、ロボットスーツによる歩行運動処置を行う			
医療技術名	遊離・有茎動脈皮弁術	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 外傷、悪性腫瘍切除後欠損、難治性潰瘍、離開創などで、保存的療法や植皮などでは閉創困難な組織欠損に対して、遊離皮弁あるいは有茎皮弁移植を用いて、整容的・機能的に満足度の高い形成手術を行っている。			
医療技術名	顔面神経麻痺に対する側頭筋弁移行術・顔面神経移植術による再建	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 顔面神経麻痺による顔面表情の非対称に対して、側頭筋弁移行術・顔面神経移植術により自然な笑いの再現と、対称的な顔貌の再現が可能となる。			
医療技術名	ナビゲーションシステムによる顔面骨手術・陳旧性顔面骨骨折骨切り矯正手術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 顔面骨骨折の術中整復位評価と陳旧性顔面骨骨折による変形治癒に対する骨切り矯正手術に、ナビゲーションシステムを応用し、よりの確で精度の高い手術が可能となる。			
医療技術名	難治性創傷に対する洗浄療法を併用した陰圧閉鎖療法	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 軟膏塗布や創傷被覆材による保存的治療で創治癒が得られない難治性創傷に対して、陰圧閉鎖療法(洗浄療法を併用したものを含む)を適用し、wound bed preparationを行い、感染の鎮静化と肉芽増生を図り、適切な時期に植皮や皮弁、縫合処置を行うことで創治癒が得られる。			
医療技術名	皮弁栄養血管の血流視覚化・数値化による皮弁再建手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 皮弁再建手術において、皮弁栄養血管の位置、血管走行、血流量や血流速度・末梢血管抵抗指数など詳細な血行動態を評価することは安全な皮弁移植のために重要である。超音波断層検査やICG血管造影、経皮的皮膚血流測定(レーザー血流計、炭酸ガスモニタ)を用いて周術期の血流評価を行っている。			

医療技術名	色素性疾患に対する治療	取扱患者数	150
当該医療技術の概要 赤あざ(血管腫、毛細血管拡張症)に対するダイレーザー(Vbeam)治療や、乳児血管腫に対するβブロッカー(ヘマンジオールシロップ)内服治療、青あざ(太田母斑・異所性蒙古斑)・茶あざ(扁平母斑・ベッカー母斑)に対するアレクサンドライレーザー治療を行っている。			
医療技術名	腹腔鏡下手術	取扱患者数	357
当該医療技術の概要 腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術・腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下卵管全摘除術・腹腔鏡下子宮卵管留血腫手術・腹腔鏡下異所性妊娠手術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出術・腹腔鏡下子宮全摘出術・子宮鏡下子宮筋腫摘出術			
医療技術名	胎児治療	取扱患者数	31
当該医療技術の概要 内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術、胎児胸腔羊水シャント術			
医療技術名	高度生殖補助医療	取扱患者数	827
当該医療技術の概要 採卵・胚移植			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍手術	取扱患者数	115
当該医療技術の概要 子宮悪性腫瘍手術、子宮付属器悪性腫瘍手術、円錐切除術			
医療技術名	内視鏡下鼻副鼻腔手術V型	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 高度な前頭洞病変に対する両側鼻副鼻腔から前頭洞へアプローチして丹洞化する手術法であり、E難度の手術である。			
医療技術名	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 上記は令和4年度から保険収載されたKコードであるが、昨年度、鼻内に限局した悪性腫瘍(嗅神経芽細胞腫 Kadish分類 group A)に対して鼻内的に内視鏡を用いて切除を行った。			
医療技術名	重症自己免疫水疱症の集学的治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 重症天疱瘡、類天疱瘡に対し、ステロイド大量療法が効果不十分である場合に、免疫抑制療法、血漿交換療法、大量免疫グロブリン静注療法を行い効果を上げている。			
医療技術名	パッチテスト	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 当科では、スタンダードシリーズによる抗原検索のみならず、成分分析に基づく成分パッチテストを施行し、より詳細な原因特定を行い、患者さんのみならず社会にアレルゲンの動向を追究することにより貢献している。			
医療技術名	先天性表皮水疱症の超微細形態学的病型診断	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 先天性表皮水疱症は、本邦で1,000人程度の患者数の稀な疾患である。生検皮膚を用いたモノクローナル抗体による蛋白発現の検索および電子顕微鏡による超微細形態観察による病型診断を行っている。			
医療技術名	ロボット支援膀胱全摘術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 保険適応にはなっているが、まだまだ実施施設が全国に普及している術式ではない			
医療技術名	ロボット支援腎部分切除術	取扱患者数	26
当該医療技術の概要 保険適応になりダビンチ保有施設では普及しつつあるが、通常の腹腔鏡下腎部分切除術より難易度の高い症例が選択される傾向がある。			

医療技術名	バイオフィードバック療法	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 筋電図・皮膚温を測定し、リアルタイムにフィードバックをすることで、リラクゼーション状態を修得する治療法であり、適宜、自律訓練法および漸進的筋弛緩法を併用し、心身症患者の自律神経系の安定を図る。			
医療技術名	実態模型を使った顎再建	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 CTのDICOMデータを用いた実態模型を石膏により作成して、そのうえで、歯肉がんなどの顎骨離断を行った予想を表現し、チタンメッシュトレーやプレートなどを屈曲して硬性再建(骨移植を含む)を行った。			
医療技術名	顎欠損に対する顎骨支持型補綴装置を用いた咬合再建	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 顎骨支持型補綴装置(インプラント埋入を含む)を用いた咬合再建を行った。			
医療技術名	加算的平均心電図(LP)	取扱患者数	149
当該医療技術の概要 心室細動、心室頻拍、発作性心房細動などの重症不整脈が出現する可能性を診断するために、心房、心室の遅延電位を計測する。			
医療技術名	超音波造影剤(ソナゾイド [®] /レホビスト)を用いた超音波検査	取扱患者数	1215
当該医療技術の概要 超音波造影剤(ソナゾイド [®] /レホビスト)を用いた消化器系腫瘍の質的診断と腫瘍凝固療法等の治療後効果判定やびまん性肝疾患(肝炎・肝硬変)の進行度評価法の検討。			
医療技術名	超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での肝腫瘍治療	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での経皮的肝腫瘍の治療。			
医療技術名	睡眠障害に対する終夜睡眠ポリグラフ検査	取扱患者数	116
当該医療技術の概要 終夜約8時間の脳波を含むポリグラフ記録を行い、不眠、過眠などの睡眠障害および睡眠随伴性の診断を行う。			
医療技術名	術中脳脊髄機能モニタリングとしてABR,SSEP,MEPの誘発電位記録	取扱患者数	115
当該医療技術の概要 ABR,SSEP,MEPの誘発電位記録を脳脊髄手術中に行い術後の神経欠落症状の出現を防ぐ。			
医療技術名	経食道心臓超音波検査(テポテ中含む)	取扱患者数	335
当該医療技術の概要 先天性疾患、弁膜症、人工弁置換術後、左心耳内血栓など通常の経胸壁エコー検査では、詳細な情報が得られない場合、経食道的アプローチは有用となる。			
医療技術名	睡眠潜時反復測定法(MSLT)	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 客観的な日中の過度の眠気測定、特にナルコレプシーの補助診断のため、脳波記録を2時間ごとに繰り返し行い、眠りにつくまでの時間とそれに伴う臨床症状を記録する。			
医療技術名	光トポグラフィー	取扱患者数	65
当該医療技術の概要 うつ症状における原因疾患の鑑別、脳神経外科術前における言語優位半球の同定、てんかん焦点の推定に有用。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	112
取扱い患者数の合計(人)	8371

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	59
2	筋萎縮性側索硬化症	58	57	特発性拡張型心筋症	24
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	5
4	原発性側索硬化症	3	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	10	60	再生不良性貧血	28
6	パーキンソン病	129	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	34
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	原発性免疫不全症候群	6
11	重症筋無力症	75	66	IgA 腎症	31
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	37
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	58	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	9	69	後縦靱帯骨化症	47
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロー・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	24
17	多系統萎縮症	13	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	1
20	副腎白質ジストロフィー		75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病		76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	17	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	38
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症		81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	5	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	34
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	126
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	36
32	自己貪食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	23
34	神経線維腫症	3	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	16	90	網膜色素変性症	22
36	表皮水疱症	19	91	バッド・キアリ症候群	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	4	92	特発性門脈圧亢進症	5
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性胆管炎	45
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	22	95	自己免疫性肝炎	30
41	巨細胞性動脈炎	7	96	クローン病	72
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	214
43	顕微鏡的多発血管炎	35	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	26	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	13	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャール病	3	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	293	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	100	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	89	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	33	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	54	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人ステル病	24	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		167	マルファン症候群	1
113	筋ジストロフィー	15	168	エーラス・ダンロス症候群	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		169	メンケス病	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		170	オクシピタル・ホーン症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

116	アトピー性脊髄炎		171	ウィルソン病	9
117	脊髄空洞症	1	172	低ホスファターゼ症	
118	脊髄髄膜瘤		173	VATER症候群	1
119	アイザックス症候群		174	那須・ハコラ病	
120	遺伝性ジストニア		175	ウィーバー症候群	
121	神経フェリチン症		176	コフィン・ローリー症候群	
122	脳表ヘモジデリン沈着症		177	ジュベール症候群関連疾患	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		178	モワット・ウィルソン症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		179	ウィリアムズ症候群	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		180	ATR-X症候群	
126	ペリー症候群		181	クルーゾン症候群	
127	前頭側頭葉変性症		182	アペール症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	183	ファイファー症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		184	アントレー・ビクスラー症候群	
130	先天性無痛無汗症		185	コフィン・シリズ症候群	
131	アレキサンダー病		186	ロスマンド・トムソン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		187	歌舞伎症候群	
133	メビウス症候群		188	多脾症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		189	無脾症候群	
135	アイカルディ症候群		190	鰓耳腎症候群	
136	片側巨脳症		191	ウェルナー症候群	
137	限局性皮質異形成		192	コケイン症候群	
138	神経細胞移動異常症		193	ブラダー・ウィリ症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		194	ソトス症候群	
140	ドラベ症候群		195	ヌーナン症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		196	ヤング・シン普森症候群	
142	ミオクロニー欠神てんかん		197	1p36欠失症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		198	4p欠失症候群	
144	レノックス・ガスター症候群		199	5p欠失症候群	
145	ウエスト症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
146	大田原症候群		201	アンジェルマン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		202	スミス・マギニス症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		203	22q11.2欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		204	エマヌエル症候群	
150	環状20番染色体症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
151	ラスマッセン脳炎		206	脆弱X症候群	
152	PCDH19関連症候群	1	207	総動脈幹遺残症	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		208	修正大血管転位症	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		209	完全大血管転位症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群		210	単心室症	3
156	レット症候群		211	左心低形成症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		212	三尖弁閉鎖症	1
158	結節性硬化症	2	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
159	色素性乾皮症		214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	4
161	家族性良性慢性天疱瘡		216	両大血管右室起始症	1
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	20	217	エプスタイン病	
163	特発性後天性全身性無汗症	1	218	アルポート症候群	1
164	眼皮膚白皮症	1	219	ギャロウェイ・モワット症候群	
165	肥厚性皮膚骨膜炎		220	急速進行性糸球体腎炎	2

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎		276	軟骨無形成症	
222	一次性ネフローゼ症候群	59	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
224	紫斑病性腎炎	5	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
225	先天性腎性尿崩症		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
227	オスラー病		282	先天性赤血球形成異常性貧血	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

228	閉塞性細気管支炎		283	後天性赤芽球癆	2
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
230	肺胞低換気症候群		285	ファンconi貧血	
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
232	カーニー複合		287	エプスタイン症候群	3
233	ウォルフラム症候群		288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		289	クロンカイト・カナダ症候群	
235	副甲状腺機能低下症		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
236	偽性副甲状腺機能低下症		291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		292	総排泄腔外反症	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		293	総排泄腔遺残	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
240	フェニルケトン尿症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
241	高チロシン血症1型		296	胆道閉鎖症	1
242	高チロシン血症2型		297	アラジール症候群	
243	高チロシン血症3型		298	遺伝性膵炎	
244	メーブルシロップ尿症		299	嚢胞性線維症	
245	プロピオン酸血症		300	IgG4関連疾患	17
246	メチルマロン酸血症		301	黄斑ジストロフィー	1
247	イソ吉草酸血症		302	レーベル遺伝性視神経症	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		303	アッシュャー症候群	
249	グルタル酸血症1型		304	若年発症型両側性感音難聴	
250	グルタル酸血症2型		305	遅発性内リンパ水腫	1
251	尿素サイクル異常症		306	好酸球性副鼻腔炎	45
252	リジン尿性蛋白不耐症		307	カナバン病	
253	先天性葉酸吸収不全		308	進行性白質脳症	
254	ポルフィリン症		309	進行性ミオクローヌスてんかん	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		310	先天異常症候群	
256	筋型糖原病		311	先天性三尖弁狭窄症	
257	肝型糖原病		312	先天性僧帽弁狭窄症	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		313	先天性肺静脈狭窄症	
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		314	左肺動脈右肺動脈起始症	
260	シトステロール血症		315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	
261	タンジール病		316	カルニチン回路異常症	
262	原発性高カイロミクロン血症		317	三頭酵素欠損症	
263	脳髄黄色腫症	1	318	シトリン欠損症	
264	無 β リポタンパク血症		319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	
265	脂肪萎縮症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
266	家族性地中海熱		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
267	高IgD症候群		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
268	中條・西村症候群		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクト症候群		324	メチルグルタコン酸尿症	
270	慢性再発性多発性骨髄炎		325	遺伝性自己炎症疾患	
271	強直性脊椎炎	23	326	大理石骨病	
272	進行性骨化性線維異形成症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		328	前眼部形成異常	1
274	骨形成不全症		329	無虹彩症	1
275	タナトフォリック骨異形成症		330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	

疾患名	患者数	疾患名	患者数
331 特発性多中心性キャッスルマン病	3		
332 膠様滴状角膜ジストロフィー			
333 ハッチンソン・ギルフォード症候群			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	123
合計患者数(人)	2431

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・特定機能病院入院基本料(一般7対1、精神13対1)	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・急性期看護時補助体制加算(25対1 5割以上)
・看護職員夜間配置加算(12対1 配置加算1)	・看護補助加算2(精神13対1)
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1・2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・抗菌薬適正使用支援加算	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・データ提出加算2	・入退院支援加算
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料3・4
・特定集中治療室管理料2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・総合周産期特定集中治療室管理料1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・小児入院医療管理料1	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・喘息治療管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イロハニ
・外来緩和ケア管理料	・移植後患者指導管理料(臓器移植後)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・地域連携小児夜間・休日診療料2	・地域連携夜間・休日診療料
・院内トリアージ実施料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1・2	・医療機器安全管理料(歯科)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・在宅血液透析指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・遺伝学的検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(1)(4)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工膝臓検査、人工膝臓療法
・長期継続頭蓋内脳波検査	・脳波検査判断料1

・光トポグラフィー	・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)
・神経学的検査	・ロービジョン検査判断料
・黄斑局所網膜電図	・内服・点滴誘発試験
・小児食物アレルギー負荷検査	
・経気管支凍結生検法	・画像診断管理加算1・2
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(1)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	・運動器リハビリテーション料(1)
・呼吸器リハビリテーション料(1)	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法1
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・羊膜移植術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)

・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
・内視鏡下筋層切開術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・胸腔鏡下弁置換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・経皮的の中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破砕術	・腹腔鏡下肝切除術
・体外衝撃波膵石破砕術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・同種死体腎移植術	・生体腎移植術
・膀胱水圧拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・胎児輸血術

<ul style="list-style-type: none"> 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術) 	<ul style="list-style-type: none"> 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
<ul style="list-style-type: none"> 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術) 	<ul style="list-style-type: none"> 輸血管管理料1
<ul style="list-style-type: none"> 輸血適正使用加算 	<ul style="list-style-type: none"> 自己生体組織接着剤作成術
<ul style="list-style-type: none"> 自己クリオプレシピテート作製術(用手法) 	<ul style="list-style-type: none"> 同種クリオプレシピテート作製術
<ul style="list-style-type: none"> 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 	<ul style="list-style-type: none"> 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織再生誘導手術 	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
<ul style="list-style-type: none"> 麻酔管理料(1)(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療専任加算
<ul style="list-style-type: none"> 外来放射線治療加算 	<ul style="list-style-type: none"> 高エネルギー放射線治療
<ul style="list-style-type: none"> 1回線量増加加算 	<ul style="list-style-type: none"> 強度変調放射線治療(IMRT)
<ul style="list-style-type: none"> 画像誘導放射線治療(IGRT) 	<ul style="list-style-type: none"> 体外照射呼吸性移動対策加算
<ul style="list-style-type: none"> 定位放射線治療 	<ul style="list-style-type: none"> 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
<ul style="list-style-type: none"> 病理診断管理加算2 	<ul style="list-style-type: none"> 悪性腫瘍病理組織標本加算
<ul style="list-style-type: none"> 口腔病理診断管理加算2 	<ul style="list-style-type: none"> クラウン・ブリッジ維持管理料

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
1	ヘリコバクターピロリによる十二指腸細菌叢の変化及び代謝産物への影響	前田正	総合診療・救急医学講座	500	補助元: 文部科学省科学研究補助金 委託元:
2	前立腺癌バイオマーカーとしての呼気中アルデヒドの有用性の検討	佐々木陽典	総合診療・救急医学講座	700	補助元: 文部科学省科研費補助金 委託元:
3	Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関する研究	船橋公彦	医学部医学科外科学講座一般・消化器外科学分野	260	補助元: 委託元: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
4	タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発	島田 英昭	医学部医学科外科学講座一般・消化器外科学分野	650	補助元: 委託元: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 次世代がん医療創生研究事業
5	新開発超音波用穿刺ガイドを用いた腹腔鏡下肝内門脈穿刺術トレーニングシステムの構築	大塚由一郎	医学部医学科外科学講座一般・消化器外科学分野	1,820	補助元: 独立行政法人日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C 委託元:
6	18F FDG PET炎症イメージングを用いた新たな動脈硬化の予後予測指標の開発	中西理子	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,300	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
7	血管弾性からみた心不全の病態解明と再入院軽減に向けた新たな予防法の開発	木内俊介	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,300	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
8	慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症における効果的な治療のための画像評価方法の開発	橋本英伸	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,950	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
9	123I-BMIPPを用いた下肢閉塞性動脈硬化症における新たな診断法の構築	大久保亮	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	2,210	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
10	がん治療関連心筋障害の早期検出における高分解能心電計を用いた新規心電学指標の同定	木下利雄	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	3,120	補助元: 平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
11	心筋脂肪酸代謝シンチグラフィによる心房細動合併HFpEFの新たな予後予測法の開発	篠原正哉	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,820	補助元:平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
12	ABCG2阻害とインドキシル硫酸の蓄積からみた尿酸降下薬の心血管病予防効果の解明	小池秀樹	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	1,950	補助元:平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 委託元:
13	循環腫瘍細胞を用いたEGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるLINC0046の研究	磯部和順	呼吸器内科	910	補助元:文部科学省 委託元:
14	気管支末梢部に自動で到達可能な自走式カテーテルの創製	高井 雄二郎	呼吸器内科	491	補助元:科学研究費助成事業 委託元:
15	肺線維症におけるmicroRNA機能に着目した分子標的治療法開発に向けた基盤研究	一色 琢磨	呼吸器内科	429	補助元:文部科学省科学研究費補助金 委託元:
16	新規ニューモシスチス肺炎モデルマウスの確立と発症に寄与する免疫不全機構の解明	三好 嗣臣	呼吸器内科	1,200	補助元:文部科学省科学研究費補助金 委託元:
17	慢性炎症性肺疾患合併肺癌におけるmicrobiomeの機能解析	東 陽子	呼吸器外科	3,500	補助元:令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 委託元:
18	皮下3次元情報を用いたインスリン・認知症ワクチン機序の解明	内野泰	東邦大学医療センター 大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター	1,500	補助元:日本学術振興会(文科省科研費) 委託元:
19	脂肪との共存を介した糖尿病抑制策実現のための肝実質調節機構の探究	熊代尚記	東邦大学医療センター 大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター	5,800	補助元:日本学術振興会(文科省科研費) 委託元:
20	難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	分担:南木敏宏	膠原病科	250	補助元:厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業) 委託元:

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
21	関節リウマチに合併する間質性肺炎の気道細菌叢による制御機構	分担:南木敏宏	膠原病科	130	補助元:科学研究費補助金(基盤研究C) 委託元:
22	ステロイド性骨粗鬆症におけるWntシグナルを標的とした治療法の有効性の解明	代表:川添麻衣	膠原病科	1,950	補助元:科学研究費補助金(若手研究) 委託元:
23	関節リウマチに合併する間質性肺炎の気道細菌叢による制御機構	代表:西尾純子	免疫疾患病態制御学講座(寄付講座)	1,170	補助元:科学研究費補助金(基盤研究C) 委託元:
24	腸上皮細胞による腸内細菌叢の調節と免疫恒常性の維持機構	分担:西尾純子	免疫疾患病態制御学講座(寄付講座)	750	補助元:学術研究振興資金 委託元:
25	新生児低酸素性虚血性脳症の生物学的マーカーの実用化に向けた臨床研究	与田仁志	新生児科	500	補助元:AMED 委託元:
26	乳児における母乳型脂質摂取の評価	与田仁志	新生児科	2,000	補助元: 委託元:糧食研究会
27	神経炎症に着目した認知症・神経変性疾患の分子病態解明と治療シーズ開発	狩野 修	脳神経内科	12,000	補助元:日本医療研究開発機構(AMED) 委託元:
28	患者レジストリを活用した筋萎縮性側索硬化症治療薬開発のための第2相医師主導治験	狩野 修	脳神経内科	1,000	補助元:日本医療研究開発機構(AMED) 委託元:
29	酸化ストレス性細胞死抑制因子を指標とした神経変性疾患のバイオマーカーの同定	狩野 修	脳神経内科	1,000	補助元:文科省科研費 委託元:
30	2種類の方位選択性網膜神経細胞の機能における差異の同定を目指して	狩野 修	脳神経内科	50	補助元:文科省科研費 委託元:

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
31	拡散時間を用いた組織微細構造イメージング:筋萎縮性側索硬化症での検討	花城里依	脳神経内科	300	補助元:文科省科研費 委託元:
32	高齢者腎不全患者に対する腎代謝療法の開始/見合わせの意思決定プロセスと最適な緩和医療・ケアの構築	酒井 謙 小口 英世	腎臓学 腎臓学	923	補助元: AMED 委託元: 川崎医科大学
33	臓器移植の免疫寛容における制御性T細胞に制御される臓器特異的抗原の探索	篠田 和伸	腎臓学	2,730	補助元: AMED 委託元: 文科省
34	川崎病冠動脈瘤を予防するための急性期難治例予測診断法の開発研究	高月晋一	小児科	200	補助元:AMED 委託元:
35	胆汁酸取込みを利用した白血病細胞の新規悪性度評価法の確立	羽賀洋一	小児科	1,300	補助元:独立行政法人日本学術振興会 委託元:
36	ALSに対する下肢サイバニック訓練(HAL)と栄養療法の併用による新たな治療戦略	杉澤 樹	リハビリテーション科	420	補助元:日本学術振興会 委託元:
37	血管新生能を有する骨髄間葉系前駆細胞を用いた血管新生療法の開発	荻野 晶弘	形成外科	1,430	補助元:文部省科学研究費 委託元:
38	一絨毛膜双胎における胎児循環不全の病態解明についての研究	中田雅彦	産婦人科	900	補助元:文部科学省 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 課題番号19K09788 委託元:
39	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	石河 晃	皮膚科学講座	500	補助元:厚生労働省科研費 委託元:
40	美容医療における合併症実態調査と診療指針の作成及び医療安全の確保に向けたシステム構築への課題探索	石河 晃	皮膚科学講座	220	補助元:厚生労働省科研費 委託元:

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
41	検証された評価基準を用いた口腔トリ アージ法による手術周術期口腔管理 の肺炎予防効果	関谷秀樹	口腔外科学研究室	4,290	補助元:独立行政法人日本学術振 興会・科学研究費補助金・基盤研究 C 委託元:
42	薬剤耐性真菌対策を含めた侵襲性真 菌症の革新的検査と治療法に関する 研究開発	澁谷和俊	病理診断科	1,300	補助元: 委託元:AMED
43	侵襲性酵母様真菌感染症に対する疫 学研究及び診断・治療の開発	澁谷和俊	病理診断科	2,000	補助元: 委託元:AMED
44	精神障害にも対応した地域包括ケ アシステムにおける若年者等に対する 早期相談・支援サービスの導入及び 検証のための研究	根本隆洋	精神神経医学講座	6,000	補助元:厚生労働科学研究費補助 金 障害者対策総合研究事業 (研 究課題番号:22GC1001) 委託元:
45	AYA世代の精神疾患高リスク群にお ける予防的睡眠マネジメントに関する 研究	根本隆洋	精神神経医学講座	5,175	補助元:国立研究開発法人日本医 療研究開発機構(AMED)障害者対 策総合研究開発事業 委託元:
46	社会認知機能に関する新たな検査 バッテリーの開発	根本隆洋	精神神経医学講座	1,300	補助元:日本医療研究開発機構 障 害者対策総合研究開発事業 委託元:
47	統合失調症の病前診断のマーカー開 発:世界初AMPA受容体PET研究	根本隆洋	精神神経医学講座	1,040	補助元:日本学術振興会 科学研究 費助成事業 挑戦的研究(開拓) (研究課題番号:20K20603) 委託元:
48	精神病発症危険状態(ARMS)の回復 と皮質-線条体-視床回路の変化に関 する研究	片桐直之	精神神経医学講座	3,770	補助元:科学研究費助成事業(学術 研究助成基金助成金)(研究課題 番号:70459759) 委託元:
49	若年メンタルヘルス援助希求者の包 括的臨床ステージと社会機能の評価	内野敬	精神神経医学講座	1,690	補助元:日本学術振興会 科学研究 費助成事業 若手研究(研究課題 番号:21K15736) 委託元:
50	以下余白				補助元: 委託元:

計 49件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
-----	-------	-------	------	---------------	---------

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
1	Hideki Sekiya*, Ken-ichiro Takahashi, Kosuke Kaneko a	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	Synergistic Effect of Miconazole Mucoadhesive Tablets	Oral Science in Japan 2021	20220329	Others
2	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	A phase 2 Sstudy of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, in patients with rheumatoid arthritis inadequately responding to biological disease-modifying antirheumatic drugs	Modern Rheumatology	20210400	Original Article
3	Suzuki G, Kanayama H, Ichibayashi R, Arai Y, Iwanami Y, Masuyama Y, Yamamoto S, Serizawa H, Nakamichi Y, Watanabe M, Honda M, Ebihara S†.	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Early mobilisation using a mobile patient lift in the intensive care unit: protocol for a randomised controlled trial	BMJ Open	20220309	Original Article
4	Masashi Kanezaki , Akira Tamaki , Kunihiko Terada , Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Linguistic Validation of the Japanese Version of the Multidimensional Dyspnea Profile and Relation to Physical Activity in Patients with COPD	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis	20220121	Original Article
5	Takae Ebihara, Miyako Yamasaki, Koichi Kozaki, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Medical aromatherapy in geritric syndrome	Geriatr Gerontol Int .	20210501	Original Article
6	Okuni I†, Otsubo Y†, Ebihara S†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Molecular and Neural Mechanism of Dysphagia Due to Cancer	International Journal of Molecular Sciences	20210629	Original Article
7	Ryoji Ogura†, Shunsuke Iribe†, Takahiko Suzuki†, Haruka Kuroda†, Tatsuki Sugisawa†, Ikuko Okuni†, Hajime Otsuk†, Yoko Azuma†, Akira Iyoda†, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Persistence of the Postoperative Change in the Six-minute Walking Distance of Lung Cancer Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Progress in Rehabilitation Medicine	20210511	Original Article
8	Satoru Ebihara†, Yuta Otsubo†, Midori Miyagi†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Role of physical therapists and aromatherapy for fall prevention in older people: A narrative review	Geriatr Gerontol Int	20210419	Original Article
9	Midori Miyagi†, Hiroshi Takahashi†, Hideki Sekiya†, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Role of preoperative cervical alignment on postoperative dysphagia after occipitocervical fusion	Surgical Neurology International	20210712	Original Article
10	Satoru Ebihara†, Toru Naito	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	A Systemativ Review of Reported Methods of Stimulating Swallowing Function and their Classification	Tohoku J.Exp.Med	20220101	Review

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
11	Ikuko Okuni†, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Are Oropharyngeal Dysphagia Screening Tests Effective in Preventing Pneumonia?	Journal of Clinical Medicine	20220113	Review
12	McGarvey L, Rubin BK, Ebihara S†, Hegland K, Rivet A, Irwin RS, Bolser DC, Chang AB, Gibson PG, Mazzone SB; CHEST Expert Cough Panel	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Global Physiology and Pathophysiology of Cough: Part 2. Demographic and Clinical Considerations: CHEST Expert Panel Report	CHEST	20211000	Review
13	Ikuko Okuni†, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Intensive olfactory training and emotional memory in patients with dementia	Geriatrics and Gerontology International	20220102	Review
14	Masashi Kanezaki, Kunihiko Terada, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	l-Menthol – a new treatment for breathlessness?	Current Opinion in Supportive and Palliative Care	20211201	Review
15	Morioka H†, Hirayama T†, Sugisawa T†, Murata K†, Shibukawa M†, Ebina J†, Sawada M†, Hanashiro S†, Nagasawa J†, Yanagihashi M†, Uchi M†, Kawabe K†, Washizawa N†, Ebihara S†, Nakajima T†, Kano O†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森), 医学部 医学科 臨床支援室, 医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Robot-assisted training using hybrid assistive limb ameliorates gait ability in patients with amyotrophic lateral sclerosis	Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia	20220300	Original Article
16	Makita S, Amano H, Kawashima H, Hinoki A, Shirota C, Tainaka T†, Sumida W, Yokota K, Okamoto M, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Utility of endoscopic retrograde cholangiopancreatography in management of pediatric pancreaticobiliary disease	BMC pediatrics	20220300	Original Article
17	Tainaka T†, Hinoki A, Tanaka Y, Shirota C, Sumida W, Yokota K, Makita S, Oshima K, Amano H, Takimoto A, Kano Y, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	<Editors' Choice> Long-term outcomes of the partial splenectomy for hypersplenism after portoenterostomy of patients with biliary atresia	Nagoya Journal of Medical Science	20211100	Original Article
18	Taniguchi R, Muramatsu H, Okuno Y, Yoshida T, Wakamatsu M, Hamada M, Shirota C, Sumida W, Hinoki A, Tainaka T†, Gotoh Y, Tsuzuki T, Tanaka Y, Kojima S, Uchida H, Takahashi Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	A patient with very early onset FH-deficient renal cell carcinoma diagnosed at age seven	Familial cancer	20210622	Original Article
19	Sumida W, Tainaka T†, Shirota C, Yokota K, Makita S, Takimoto A, Yasui A, Okamoto M, Nakagawa Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	An imaging study on tracheomalacia in infants with esophageal atresia: the degree of tracheal compression by the brachiocephalic artery is a good indicator for therapeutic intervention.	Pediatric surgery international	20211200	Original Article
20	Okamoto M, Amano H, Uchida H, Hinoki A, Tainaka T†, Shirota C, Sumida W, Yokota K, Makita S, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Clinical characteristics and outcomes of the right congenital diaphragmatic hernia compared to the left: a 10-year single-center experience.	Pediatric surgery international	20211200	Original Article
21	Takimoto A, Sumida W, Amano H, Shirota C, Tainaka T†, Yokota K, Makita S, Yasui A, Kanou Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Correction to: Postoperative intestinal obstruction in patients with biliary atresia impedes biliary excretion and results in subsequent liver transplantation.	Pediatric surgery international	20210600	Original Article
22	Shirota C, Kawashima H, Tainaka T†, Sumida W, Yokota K, Makita S, Amano H, Takimoto A, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Double-balloon endoscopic retrograde cholangiography can make a reliable diagnosis and good prognosis for postoperative complications of congenital biliary dilatation.	Scientific Reports	20210526	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
23	Kojima K, Goto M†, Nagashima Y†, Saito Y, Kawai M, Takebe S, Egawa A, Tanba M, Ishikawa K, Matsuoka H, Masaki T, Sunami E, Ohura N, Teruya K, Eto K, Nozawa K, Sakamoto K, Funahashi K†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Effectiveness of negative pressure wound therapy for the wound of ileostomy closure: a multicenter, phase II randomized controlled trial.	BMC surgery	20211228	Original Article
24	Yokoyama S, Ishizu Y, Ishigami M, Honda T, Kuzuya T, Ito T, Hinoki A, Sumida W, Shirota C, Tainaka T†, Makita S, Yokota K, Uchida H, Fujishiro M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Factors associated with bleeding after endoscopic variceal ligation in children.	Pediatrics international	20211000	Original Article
25	Otsuka Y†, Matsumoto Y†, Ito Y†, Okada R†, Maeda T†, Ishii J†, Kajiwara Y†, Okubo K†, Funahashi K†, Kaneko H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Intraoperative guidance using ICG fluorescence imaging system for safe and precise laparoscopic liver resection	Minerva surgery	20210600	Original Article
26	Tainaka T†, Shirota C, Hinoki A, Sumida W, Yokota K, Makita S, Amano H, Tanaka Y, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Laparoscopic definitive surgery for congenital biliary dilatation with aggressive hilar bile ductoplasty and complete resection of the intrapancreatic bile duct in pediatric patients is safe and effective, comparable to open surgery	Surgical endoscopy	20220228	Original Article
27	Shirota C, Hinoki A, Tainaka T†, Sumida W, Kinoshita F, Yokota K, Makita S, Amano H, Nakagawa Y, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Laparoscopic Kasai portoenterostomy can be a standard surgical procedure for treatment of biliary atresia.	World journal of gastrointestinal surgery	20220127	Original Article
28	Amano H, Shirota C, Tainaka T†, Sumida W, Yokota K, Makita S, Takimoto A, Tanaka Y, Hinoki A, Kawashima H, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Late postoperative complications of congenital biliary dilatation in pediatric patients: a single-center experience of managing complications for over 20 years.	Surgery today	20210900	Original Article
29	Kurihara A†, Yoshino Y†, Sakai Y†, Miura Y†, Kagami S†, Kaneko T†, Ushigome M†, Shikawa H†, Kaneko H†, Funahashi K†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Linear Pinched Hemorrhoidectomy: A Retrospective Observational Study (An Innovative, Simplified Hemorrhoidectomy)	Journal of the anus, rectum and colon	20210729	Original Article
30	Miyama A, Morise Z, Aldrighetti L, Belli G, Ratti F, Cheung TT, Lo CM, Tanaka S, Kubo S, Okamura Y, Uesaka K, Monden K, Sadamori H, Hashida K, Kawamoto K, Gotohda N, Chen K, Kanazawa A, Takeda Y, Ohmura Y, Ueno M, Ogura T, Suh KS, Kato Y, Sugioka A, Belli A, Nitta H, Yasunaga M, Cherqui D, Halim NA, Laurent A, Kaneko H†, Otsuka Y†, Kim KH, Cho HD, Lin CC, Ome Y, Seyama Y, Troisi RI, Berardi G, Rotellar F, Wilson GC, Geller DA, Soubrane O, Yoh T, Kaizu T, Kumamoto Y, Han HS, Ekmekcigil E, Dagher I, Fuks D, Gayet B, Buell JF, Ciria R, Briceno J, O'Rourke N, Lewin J, Edwin B, Shinoda M, Abe Y, Hilal MA, Alzoubi M, Tanabe M, Wakabayashi G	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Multicenter Propensity Score-Based Study of Laparoscopic Repeat Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma: A Subgroup Analysis of Cases with Tumors Far from Major Vessels.	Cancers	20210625	Original Article
31	Ban D, Tanabe M, Kumamaru H, Nitta H, Otsuka Y†, Miyata H, Kakeji Y, Kitagawa Y, Kaneko H†, Wakabayashi G, Yamaue H, Yamamoto M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Safe Dissemination of Laparoscopic Liver Resection in 27,146 Cases Between 2011 and 2017 From the National Clinical Database of Japan	Annals of surgery	20211201	Original Article
32	Ban D, Tanabe M, Kumamaru H, Nitta H, Otsuka Y†, Miyata H, Kakeji Y, Kitagawa Y, Kaneko H†, Wakabayashi G, Yamaue H, Yamamoto M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Safe Dissemination of Laparoscopic Liver Resection in 27,146 Cases Between 2011 and 2017 From the National Clinical Database of Japan.	Annals of surgery	20211201	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
33	Aoki T, Kubota K, Matsumoto T, Nitta H, Otsuka Y†, Wakabayashi G, Kaneko H†; Endoscopic Liver Surgery Study Group of Japan.	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Safety assessment of laparoscopic liver resection: A project study of the Endoscopic Liver Surgery Study Group of Japan.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20210600	Original Article
34	Sakaguchi H, Konishi KI, Yasuda R, Sasaki H, Yoshimaru K, Tainaka T†, Fukahori S, Sanada Y, Iwama I, Shoji H, Kinoshita M, Matsuura T, Fujishiro J, Uchida H, Nio M, Yamashita Y, Mizuochi T	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Serum matrix metalloproteinase-7 in biliary atresia: A Japanese multicenter study.	Hepatology Research	20220200	Original Article
35	Shirota C, Tainaka T†, Sumida W, Yokota K, Makita S, Amano H, Okamoto M, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Single-incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure (SILPEC) for inguinal hernia with prolapsed ovary.	Surgical endoscopy	20211019	Original Article
36	Satoi S, Takahara N, Fujii T, Isayama H, Yamada S, Tsuji Y, Miyato H, Yamaguchi H, Yamamoto T, Hashimoto D, Yamaki S, Nakai Y, Saito K, Baba H, Watanabe T, Ishii S, Hayashi M, Kurimoto K, Shimada H†, Kitayama J	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Synopsis of a clinical practice guideline for pancreatic ductal adenocarcinoma with peritoneal dissemination in Japan; Japan Peritoneal Malignancy Study Group	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20211200	Original Article
37	Yokota K, Hinoki A, Hiramatsu K, Amano H, Kawamura M, Kuwatsuka Y, Tainaka T†, Shirota C, Sumida W, Makita S, Okamoto M, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y, Uchida H, Kawakita M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Urinary N 1,N 12-diacetylspermine as a biomarker for pediatric cancer: a case-control study.	Pediatric surgery international	20211200	Original Article
38	Funahashi K†*, Kurihara A†, Miura Y†, Ushigome M†, Kaneko T†, Kagami S†, Yoshino Y†, Koda T†, Nagashima Y†, Yoshida K†, Sakai Y†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	What is the recommended procedure for recurrent rectal prolapse? A retrospective cohort study in a single Japanese institution.	Surgery today	20210600	Original Article
39	Fujita S†, Oshima Y†, Yajima S†, Kikuchi Y†, Nagaoka S, Yamashita H, Seto Y, Fujisaki M, Mitsumori N, Otsuka K, Murakami M, Urakami H, Isobe Y, Yoshimoto Y, Satodate H, Saida Y†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大橋), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	What are the important prognostic factors in gastric cancer with positive duodenal margins? A multi-institutional analysis.	Surgery today	20210400	Original Article
40	Shimada H†, Fukagawa T, Haga Y, Okazumi S†, Oba K	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Clinical TNM staging for esophageal, gastric, and colorectal cancers in the era of neoadjuvant therapy: A systematic review of the literature	Annals of Gastroenterological Surgery	20210700	Review
41	Nihon-Yanagi Y*†, Wakayama M†, Tochigi N†, Saito F†, Ogata H†, Shibuya K†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Immunohistochemical Analysis of Toll-Like Receptors, MyD88, and TRIF in Human Papillary Thyroid Carcinoma and Anaplastic Thyroid Carcinoma.	Journal of thyroid research	20210701	Original Article
42	Honma N†, Ogata H†, Yamada A, Matsuda Y, Kontani K, Miyashita M, Arai T, Sasaki E, Shibuya K†, Mikami T†, Sawaki M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Clinicopathological characteristics and prognostic marker of triple-negative breast cancer in older women.	Human pathology	20210500	Original Article
43	Takagi-Maeda S, Yajima S†, Suzuki T†, Usami K, Takahashi N, Niwa R, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	A novel cancer-specific EGFR antibody obtained from the serum of esophageal cancer patients with long-term survival.	Cancer science	20220329	Original Article
44	Nguyen TTT, Shingyoji M, Hanazono M, Zhong B, Morinaga T, Tada Y, Shimada H†, Hiroshima K, Tagawa M	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	An MDM2 inhibitor achieves synergistic cytotoxic effects with adenoviruses lacking E1B55kDa gene on mesothelioma with the wild-type p53 through augmenting NFI expression.	Cell death & disease.	20210702	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
45	Ito M†, Hiwasa T†, Oshima Y†, Yajima S†, Suzuki T†, Nanami T†, Sumazaki M†, Shiratori F†, Funahashi K†, Li SY, Iwadate Y, Yamagata H, Jambaljav B, Takemoto M, Yokote K, Takizawa H, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Association of Serum Anti-PCSK9 Antibody Levels with Favorable Postoperative Prognosis in Esophageal Cancer.	Frontiers in Oncology	20210824	Original Article
46	Matsusaki K, Aridome K, Emoto S, Kajiyama H, Takagaki N, Takahashi T, Tsubamoto H, Nagao S, Watanabe A, Shimada H†, Kitayama J	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Clinical practice guideline for the treatment of malignant ascites:section summary in Clinical Practice Guideline for peritoneal dissemination (2021).	International Journal of Clinical Oncology	20220100	Original Article
47	Ikeda A, Nagayama S, Sumazaki M†, Konishi M, Fujii R, Saichi N, Muraoka S, Saigusa D, Shimada H†, Sakai Y, Ueda K.	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Colorectal Cancer-Derived CAT1-Positive Extracellular Vesicles Alter Nitric Oxide Metabolism in Endothelial Cells and Promote Angiogenesis.	Molecular cancer research : MCR	20210500	Original Article
48	Sumazaki M†, Ogata H†, Nabeya Y, Kuwajima A, Hiwasa T†, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Multi-panel assay of 17 tumor-associated antibodies for serological detection of stage 0/I breast cancer.	Cancer science	20210500	Original Article
49	Shiratori F†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Nanami T†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Preoperative low serum calcium levels predict poor prognosis for patients with esophageal cancer.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20210923	Original Article
50	Murayama K†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Nanami T†, Shiratori F†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Preoperative low serum creatine kinase is associated with poor overall survival in the male patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus	20220100	Original Article
51	Nanami T†, Hoshino I, Shiratori F†, Yajima S†, Oshima Y†, Suzuki T†, Ito M†, Hiwasa T†, Kuwajima A, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Presence of serum RalA and serum p53 autoantibodies in 1833 patients with various types of cancers.	International Journal of Clinical Oncology	20220100	Original Article
52	Nanami T†, Hoshino I, Shiratori F†, Yajima S†, Oshima Y†, Suzuki T†, Ito M†, Hiwasa T†, Kuwajima A, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prevalence of serum galectin-1 autoantibodies in seven types of cancer: A potential biomarker.	Molecular and Clinical Oncology	20210900	Original Article
53	Sugawara K, Yamashita H, Yajima S†, Oshima Y†, Mitsumori N, Fujisaki M, Yamazaki K, Otsuka K, Futawatari N, Watanabe R, Satodate H, Yoshimoto Y, Nagaoka S, Tokuyama J, Sasaki S, Seto Y, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognosis of hemodialysis patients undergoing surgery for gastric cancer: Results of a multicenter retrospective study.	Surgery	20210700	Original Article
54	Moriyama J†, Oshima Y†, Nanami T†, Suzuki T†, Yajima S†, Shiratori F†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognostic impact of CEA/CA19-9 at the time of recurrence in patients with gastric cancer.	Surgery today	20211005	Original Article
55	Ishioka N†, Suzuki T†, Yajima S†, Murakami K, Ohkura Y, Fukuda T, Yagi K, Okamura A, Hoshino I, Kunisaki C, Nakajima Y, Narumiya K, Ogawa R, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Prognostic Impact of Pretreatment Serum CYFRA Status in 1047 Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Who Underwent Radical Resection: A Japan Esophageal Society Promotion Research.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20211023	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
56	Li SY, Yoshida Y, Kobayashi E, Kubota M, Matsutani T, Mine S, Machida T, Maezawa Y, Takemoto M, Yokote K, Kobayashi Y, Takizawa H, Sata M, Yamagishi K, Iso H, Sawada N, Tsugane S, Kobayashi S, Matsushita K, Nomura F, Matsubara H, Sumazaki M†, Ito M†, Yajima S†, Shimada H†, Iwase K, Ashino H, Wang H, Goto K, Tomiyoshi G, Shinmen N, Nakamura R, Kuroda H, Iwate Y, Hiwasa T	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Serum anti-AP3D1 antibodies are risk factors for acute ischemic stroke related with atherosclerosis.	Scientific Reports	20210629	Original Article
57	Hiwasa T†, Wang H, Goto KI, Mine S, Machida T, Kobayashi E, Yoshida Y, Adachi A, Matsutani T, Sata M, Yamagishi K, Iso H, Sawada N, Tsugane S, Kunimatsu M, Kamitsukasa I, Mori M, Sugimoto K, Uzawa A, Muto M, Kuwabara S, Kobayashi Y, Ohno M, Nishi E, Hattori A, Yamamoto M, Maezawa Y, Kobayashi K, Ishibashi R, Takemoto M, Yokote K, Takizawa H, Kishimoto T, Matsushita K, Kobayashi S, Nomura F, Arasawa T, Kagaya A, Maruyama T, Matsubara H, Tomiita M, Hamanaka S, Imai Y, Nakagawa T, Kato N, Terada J, Matsumura T, Katsumata Y, Naito A, Tanabe N, Sakao S, Tatsumi K, Ito M†, Shiratori F†, Sumazaki M†, Yajima S†, Shimada H†, Shirouzu M, Yokoyama S, Kudo T, Doi H, Iwase K, Ashino H, Li SY, Kubota M, Tomiyoshi G, Shinmen N, Nakamura R, Kuroda H, Iwate Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Serum anti-DIDO1, anti-CPSF2, and anti-FOXJ2 antibodies as predictive risk markers for acute ischemic stroke.	BMC medicine	20210609	Original Article
58	Tewari KS, Monk BJ, Vergote I, Miller A, de Melo AC, Kim HS, Kim YM, Lisyanskaya A, Samouëlian V, Lorusso D, Damiani F, Chang CL, Gotovkin EA, Takahashi S, Ramone D, Pikiel J, Maćkowiak-Matejczyk B, Guerra Alia EM, Colombo N, Makarova Y, Rischin D, Lheureux S, Hasegawa K, Fujiwara K, Li J, Jamil S, Jankovic V, Chen CI, Seebach F, Weinreich DM, Yancopoulos GD, Lowy I, Mathias M, Fury MG, Oaknin A; Investigators for GOG Protocol 3016 and ENGOT Protocol En-Cx9.	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Survival with Cemiplimab in Recurrent Cervical Cancer	The New England journal of medicine	20220210	Original Article
59	Nagaoka S, Yamashita H, Seto Y, Fujisaki M, Mitsumori N, Oshima Y†, Yajima S†, Kikuchi Y†, Otsuka K, Murakami M, Fujita S, Futawatari N, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Taxane-based versus platinum-based chemotherapy in early recurrent gastric cancer after radical surgery with S-1 adjuvant chemotherapy: A multi-institutional retrospective analysis.	Asia-Pacific journal of clinical oncology	20210707	Original Article
60	Sato S, Oshima Y†, Matsumoto Y†, Seto Y, Yamashita H, Hayano K, Kano M, Ono HA, Mitsumori N, Fujisaki M, Kunisaki C, Akiyama H, Endo I, Ichikawa Y, Urakami H, Kubo H, Nagaoka S, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The new prognostic score for unresectable or recurrent gastric cancer treated with nivolumab: A multi-institutional cohort study.	Annals of Gastroenterological Surgery	20210713	Original Article
61	Okada R†, Otsuka Y†, Tsuchiya M†, Maeda T†, Ishii J†, Matsumoto Y†, Ito Y†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The Prognostic Impact of High Soluble Programmed Death Ligand 1 Levels in Patients with Hepato-Biliary-Pancreatic Cancer.	Toho Journal of Medicine	20210600	Original Article
62	Koda N†, Oshima Y†, Koda K, Shimada H†*	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Surgeon fatigue does not affect surgical outcomes: a systematic review and meta-analysis.	Surgery today	20210500	Review

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
63	Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	ASO Author Reflections: New Assay System to Detect Serum Anti-p53 Antibodies.	Annals of surgical oncology	20210700	Others
64	Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Editorial: Real-World Data Related to the Topics of 6th Edition of Gastric Cancer Treatment Guidelines.	Annals of Gastroenterological Surgery	20211100	Others
65	Kinoshita T†, Yuzawa H†, Natori K†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Shinohara M†, Fujino T†, Shimada H†, Ikeda T†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野(大森)	Early electrocardiographic indices for predicting chronic doxorubicin-induced cardiotoxicity.	Journal of cardiology	20210400	Original Article
66	Yajima S†, Suzuki T†, Nanami T†, Oshima Y†, Kikuchi Y†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Randomized Phase II Study to Comparing Docetaxel/Nedaplatin versus Docetaxel for 5-Fluorouracil/Cisplatin Resistant Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Annals of thoracic and cardiovascular surgery	20210820	Original Article
67	Kikuchi Y†, Shimada H†, Izobe K†, Shimizu R†, Wakabayashi M†, Yamaguchi K†, Igarashi Y†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Clinicopathological characteristics of colorectal metastases from lung cancer: systematic review of the case reports in the Japanese literature	International Cancer Conference Journal	20210719	Original Article
68	Yajima S†, Suzuki T†, Oshima Y†, Shiratori F†, Funahashi K†, Kawai S†, Nanki T†, Muraoka S†, Urita Y†, Saida Y†, Okazumi S†, Kitagawa Y, Hirata Y, Hasegawa H, Okabayashi K, Murakami M, Yamashita T, Kato R, Matsubara H, Murakami K, Nakajima Y, Sugita H, Klammer M, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森), 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	New Assay System Elecsys Anti-p53 to Detect Serum Anti-p53 Antibodies in Esophageal Cancer Patients and Colorectal Cancer Patients: Multi-institutional Study.	Annals of surgical oncology	20210700	Original Article
69	Ito M†, Hiwasa T, Oshima Y†, Yajima S†, Suzuki T†, Nanami T†, Sumazaki M†, Shiratori F†, Funahashi K†, Takizawa H, Kashiwado K, Tochigi N†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Identification of serum anti- striatin 4 antibodies as a common marker for esophageal cancer and other solid cancers.	Molecular and Clinical Oncology	20211100	Original Article
70	Akira Iyoda, Yoko Azuma, Takashi Sakai, Satoshi Koezuka, Hajime Otsuka, Atsushi Sano	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	A novel finding related to bulla and bleb formation in patients with primary spontaneous pneumothorax	BMC Pulmonary Medicine	20211200	Others
71	Yoko Azuma, Atsushi Sano, Takashi Sakai, Satoshi Koezuka, Hajime Otsuka, Naobumi Tochigi, Kazutoshi Isobe, Susumu Sakamoto, Yujiro Takai, Akira Iyoda	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Prognostic and functional impact of perioperative LAMA/LABA inhaled therapy in patients with lung cancer and chronic obstructive pulmonary disease	BMC Pulmonary Medicine	20211200	Others
72	Akira Iyoda, Yoko Azuma, Atsushi Sano, Takashi Sakai, Satoshi Koezuka, Hajime Otsuka, Naobumi Tochigi, Kazutoshi Isobe, Susumu Sakamoto, Keigo Takagi	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Contributions of Airway Stent for Long-term Outcome in Patients With Malignant Central Airway Stenosis or Obstruction	Journal of Bronchology&Interventional Pulmonology	20210700	Original Article
73	Takashi Sakai, Atsushi Sano, Yoko Azuma, Satoshi Koezuka, Hajime Otsuka, Akira Iyoda	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Streptococcus anginosus group infection as a predictor for the progression of descending necrotizing mediastinitis	Annals of Palliative Medicine	20210400	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
74	Shugo Uematsu*, Atsushi Sano†, Kazutoshi Isobe†, Kazuhiro Usui, Jun Matsumoto, Takaharu Kiribayashi†, Kiyohaya Obara, Akihiko Kitami, Yoshitaka Murakami†, Akira Iyoda†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 社会医学講座/医療統計学, 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大橋), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	Acceptability and feasibility of S-1 plus cisplatin adjuvant chemotherapy for completely resected non-small cell lung cancer: an open-label, single arm, multicenter, phase 2 trial.	Journal of Thoracic Disease	20210430	Original Article
75	Akira Iyoda†, Yoko Azuma†, Atsushi Sano†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka†, Kazutoshi Isobe†, Susumu Sakamoto†, Yujiro Takai†, Keigo Takagi	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Long-term survival of airway silicone stents in patients with central airway stenosis or obstruction due to thoracic malignancy	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	20210412	Original Article
76	Akira Iyoda†, Yoko Azuma†, Susumu Sakamoto†, Sakae Homma†, Atsushi Sano†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Surgical treatment for patients with idiopathic pulmonary fibrosis and lung cancer: postoperative acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis and outcomes	Surgery Today	20210804	Review
77	Akira Iyoda†, Yoko Azuma†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka†, Naobumi Tochigi†, Kazutoshi Isobe†, Atsushi Sano†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座	Intraoperative argon-plasma coagulation treatment for patients with malignant pleural mesothelioma	Molecular and Clinical Oncology	20211000	Original Article
78	Takashi Sakai†, Yoko Azuma†, Kotaro Aoki†, Megumi Wakayama†, Shion Miyoshi†, Kazuma Kishi†, Kazuhiro Tateda†, Sakae Homma†, Akira Iyoda†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Elective lung resection after treatment for COVID-19 pneumonia	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	20210403	Case report
79	©Yoko Azuma†, Naobumi Tochigi†, Atsushi Sano†, Takashi Sakai†, Akira Iyoda	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 病理学講座	Thoracoscopic resection of bilateral multiple superior mediastinal neurofibromas	Journal of Cardiothoracic Surgery	20211020	Case report
80	Yoko Azuma†, Atsushi Sano†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka†, Naobumi Tochigi†, Kazutoshi Isobe†, Susumu Sakamoto†, Yujiro Takai†, Akira Iyoda†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Prognostic and functional impact of perioperative LAMA/LABA inhaled therapy in patients with lung cancer and chronic obstructive pulmonary disease	BMC Pulmonary Medicine	20210521	Original Article
81	Atsushi Sano †, Ayako Hiranuma † and Makoto Nagashima †	医学部 医学科 外科学講座(佐倉), 医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Preoperative detection of pleural adhesions using pocket-sized ultrasound	Asian Cardiovascular & Thoracic Annals	20210601	Original Article
82	Uchino M, Yokoi N, Shimazaki J, Hori Y, Tsubota K	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Adherence to Eye Drops Usage in Dry Eye Patients and Reasons for Non-Compliance: A Web-Based Survey.	Journal of Clinical Medicine	20220112	Original Article
83	©Wong CW, ©Matsumura S, Htoon HM, Tan S, Tan CS, Ang M, Wong YL, Agrawal R, Sabanayagam C, Saw SM.	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Assessment of the Macular Microvasculature in High Myopes With Swept Source Optical Coherence Tomographic Angiography	Front Med	20210500	Original Article
84	Dannoue K, Takagi S, Uemura K, Takei A, Usui T.	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Characteristics of astigmatism before and 1 month after blepharoptosis surgery in patients with acquired ptosis. Dannoue K, Takagi S, Uemura K, Takei A, Usui T.	PLOS ONE	20211000	Original Article
85	Kobayashi T, Shiba T, Okamoto K, Usui T, Hori Y	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Characteristics of laterality in the optic nerve head microcirculation obtained by laser speckle flowgraphy in healthy subjects.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv für klinische und experimentelle Ophthalmologie	20220317	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
86	©Matsumura S, Sabanayagam C, Wong CY, Cheng CY, Hoang QV, Saw SM et al	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Characteristics of Myopic Traction Maculopathy in myopic Singapore adults.	British Journal of Ophthalmology	20210400	Original Article
87	Sakai D, Takagi S, Hiram Y, Nakamura M, Kurimoto Y.	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Correlation between tangential distortion of the outer retinal layer and metamorphopsia in patients with epiretinal membrane.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.	20210701	Original Article
88	Shun Kumashiro, Seiji Takagi, Takashi Itokawa, Akiko Tajima, Tatsuhiko Kobayashi, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Decrease in choroidal blood flow after half and one-third dose verteporfin photodynamic therapy for chronic central serous chorioretinopathy	BMC Ophthalmology	20210531	Original Article
89	Kiyoshi Mabuchi, Hiroko Iwashita, Rina Sakai, Masanobu Ujihira, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Development of a pendulum machine for measuring contact lens friction	Biosurface and Biotribology	20210502	Original Article
90	Hiroko Iwashita, Takashi Itokawa, Takashi Suzuki, Yukinobu Okajima, Koji Kakisu, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Evaluation of In Vitro Wettability of Soft Contact Lenses Using Tear Supplements	Eye & contact lens	20210501	Original Article
91	Hiroko Iwashita, Kiyoshi Mabuchi, Takashi Itokawa, Yukinobu Okajima, Takashi Suzuki, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Evaluation of the Lubricating Effect of Hyaluronic Acid on Contact Lens Using a Pendulum-Type Friction Tester Under Mimicking Physiological Conditions.	Eye & contact lens	20220200	Original Article
92	Sakai D, Takagi S, Hiram Y, Nakamura M, Kurimoto Y.	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Use of ellipsoid zone width for predicting visual prognosis after cataract surgery in patients with retinitis pigmentosa.	EYE	20211100	Original Article
93	Komatsu T, Shiba T, Watanabe K, Sakuma K, Aimoto M, Nagasawa Y, Takahara A, Hori Y	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 薬学部 医療薬学教育センター/薬物治療学研究室	Real-Time Evaluation of Regional Arterial Stiffening, Resistance, and Ocular Circulation During Systemic Administration of Adrenaline in White Rabbits.	Translational vision science & technology	20210806	Original Article
94	Watanabe K†, Shiba T†*, Komatsu T†, Sakuma K†, Aimoto M†, Nagasawa Y†, Takahara A†, Hori Y†	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 薬学部 医療薬学教育センター/薬物治療学研究室	The influence of hemorrhagic shock on ocular microcirculation by obtained by laser speckle flowgraphy in a white rabbit model	Microcirculation (New York, N.Y. : 1994)	20210518	Original Article
95	Sekiya, H.; Kurasawa, Y.; Maruoka, Y.; Mukohyama, H.; Negishi, A.; Shigematsu, S.; Sugizaki, J.; Ohashi, M.; Hasegawa, S.; Kobayashi, Y.; Ueno, M; and Michiwaki, Y.	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	Cost-Effectiveness Analysis of Perioperative Oral Management after Cancer Surgery and an Examination of the Reduction in Medical Costs Thereafter: A Multicenter Study.	International journal of environmental research and public health	20210700	Original Article
96	Yutaka Maruoka, Yukihiro Michiwaki, Hideki Sekiya, Yasuhiro Kurasawa,, Nagato Natsume	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	What does oral care mean to society?	BioScience Trends	20220217	Review
97	Sekiya, H.; Kurasawa, Y.; Kaneko, K.; Takahashi, K.-i.; Maruoka, Y.; Michiwaki, Y.; Takeda, Y.; Ochiai, R.	医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森), 医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Preventive Effects of Sustainable and Developmental Perioperative Oral Management Using the “Oral Triage” System on Postoperative Pneumonia after Cancer Surgery.	International journal of environmental research and public health	20210602	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
98	Ota Y, Ota K†, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Shiota M.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	A Suturing Method without Exposure of Barbs on the Wound Surface using a Unidirectional Barbed Monofilament Absorbable Suture (STRATAFIXT) in Laparoscopic Myomectomy: A Feasibility Study.	Gynecol Minim Invasive Ther.	20210500	Original Article
99	Ota K†, Takahashi T.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Aging impairs restoration of endometrial blood flow impedance after laparoscopic myomectomy in infertile women with uterine fibroids.	Obstet Gyneacol.	20210700	Original Article
100	Hiroaki Tanaka, Chizuko A. Kamiya, Chinami Horiuchi, Hiroko Morisaki, Kayo Tanaka, Shinji Katsuragi, Eijiro Hayata†, Junichi Hasegawa, Masahiko Nakata†, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata and Tomoaki Ikeda	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Aortic dissection during pregnancy and puerperium: A Japanese nationwide survey	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210400	Original Article
101	Yukiko Katagiri, Seung Chik Jwa, Akira Kuwahara, Takeshi Iwasa, Masanori Ono, Keiichi Kato, Hiroshi Kishi, Yoshimitsu Kuwabara, Miyuki Harada, Toshio Hamatani, Yutaka Osuga	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2019 by the Ethics Committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology	Reproductive Medicine and Biology	20211214	Original Article
102	Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Mayumi Takano†, Sumito Nagasaki†, Ayako Oji†, Junya Sakuma†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Biochemical effects of intraoperative cell salvage and autotransfusion during cesarean section: A prospective pilot study	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210400	Original Article
103	Tomoko Sakamoto†, Taniguchi†, Shinichi Komiyama†, Masaru Nagashima†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Characteristics of microsatellite instability-high gynecologic cancer and efficacy of pembrolizumab: a single-institution experience.	European journal of gynaecological oncology	20210800	Original Article
104	Ayumu Ito, Yukiko Katagiri	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Dynamic changes in serum steroid hormone during the first trimester of pregnancy between infertile women conceiving with and without hormone replacement therapy	Heliyon	20211001	Original Article
105	Ota K†, Takahashi T, Katagiri M, Mizunuma H, Yoshida H.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Effects of Hatha Yoga on endocrine functions and assisted reproductive technology outcomes in women with infertility: a retrospective cohort study.	J Reprod Med.	20210500	Original Article
106	Yamada, Yukiko Katagiri	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Evaluation of the clinical performance of noninvasive prenatal testing at a Japanese laboratory	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210727	Original Article
107	Yukiko Katagiri	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Evaluation of the clinical performance of noninvasive prenatal testing at a Japanese laboratory	Obstetrics and Gynecology Research	20211000	Original Article
108	Yukiko Katagiri, Yuko Tamaki	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Genetic counseling prior to assisted reproductive technology	Reproductive Medicine and Biology	20210421	Original Article
109	Ayumu Ito†, Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Ayako Oji†, Takamasa Furukawa, Masahito Nakakuma, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	iPREFACE score: Integrated score index to predict fetal acidemia by intrapartum fetal heart rate monitoring	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210400	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
110	Hiroaki Tanaka, Shinji Katsuragi, Junichi Hasegawa, Kayo Tanaka, Masamitsu Nakamura, Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Maternal Death Related to Sudden Unexpected Death in Epilepsy: A Nationwide Survey in Japan	brain sciences	20210728	Original Article
111	Mayumi Takano, Masahiko Nakata, Keisuke Ishii, Seiji Wada, Masahiro Sumie, Ryo Yamamoto, Katsusuke Ozaawa, Junya Sakuma, Sumito Nagasaki, Haruhiko Sago	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Outcomes of fetoscopic laser surgery for twin-to-twin transfusion syndrome between 26 and 27 weeks of gestation in Japan	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20211100	Original Article
112	Yasuoka T, Iwama N, Ota K†, Harada M, Hasegawa J, Yaegashi N, Sugiyama T, Suzuki N, Osuga Y.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Pregnancy outcomes in children, adolescents, and young adults that survived cancer: A nationwide survey in Japan.	J Obstet Gyneacol Res.	20210621	Original Article
113	Naosuke Enomoto, Hiroaki Tanaka, Shinji Katsuragi, Eijiro Hayata†, Junichi Hasegawa, Masahiko Nakata†, Jun C Takahashi, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Pregnancy-associated hemorrhagic stroke: A nationwide survey in Japan	The journal of obstetrics and gynaecology research	20210400	Original Article
114	Eri N Arai, Satoshi Yoneda, Noriko Yoneda, Mika Ito, Sayaka Tsuda, Arihiro Shiozaki, Tomoyoshi Nohira, Hironobu Hyodo, Kazumasa Kumazawa, Tomo Suzuki, Sumito Nagasaki, Shintaro Makino, Shigeru Saito	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Probiotics including Clostridium butyricum, Enterococcus faecium, and Bacillus subtilis may prevent recurrent spontaneous preterm delivery	The journal of obstetrics and gynaecology research.	20220126	Original Article
115	Sho Takakura, Hiroaki Tanaka, Kayo Tanaka, Shinji Katsuragi, Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Junichi Hasegawa, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Pulmonary thromboembolism during pregnancy and puerperium: Comparison of survival and death cases	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210401	Original Article
116	Nagasaki Sumito, Nakata Masahiko	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Two-dimensional Tracking Technique for Assessment of Fetal Cardiac Function	Donald School Journal of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology	20210930	Original Article
117	Ota Y, Ota K†, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Shiota M.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Robotic-assisted total hysterectomy with low pneumoperitoneal pressure (6 mmHg) and use of surgical plume evacuator system to minimize potential airborne particles according to the joint statement on minimally invasive gynecologic surgery during the COVID-19 pandemic: A assessment from Japan	Gynecol Minim Invasive Ther.	20210500	Case report
118	Takahashi T, Ota K†, Murakami M, Mizunuma H.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Uterine leiomyosarcoma presenting as septic shock in a 43-year-old woman: a case report.	Clinical and Experimental Obstetrics & Gynecology.	20210500	Case report
119	Tadahiro Shoji, Takayuki Enomoto, Masakazu Abe, Aikou Okamoto, Takayuki Nagasawa, Tetsuro Oishi, Satoru Nagase, Masahiko Mori, Yuki Inokuchi, Shoji Kamiura, Shinichi Komiyama†, Nobuhiro Takeshima, Toru Sugiyama.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森), その他	Efficacy and safety of standard of care with/without bevacizumab for platinum-resistant ovarian/fallopian tube/peritoneal cancer previously treated with bevacizumab: The Japanese Gynecologic Oncology Group study JGOG3023.	Cancer science	20211100	Original Article
120	Ayumu Ito†, Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Tomoyuki Shigeta†, Yasuhiko Nakamura†, Kazuma Kishi†, Hitoshi Yoda†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Rapid recovery achieved by intensive therapy after preterm cesarean section for worsening COVID-19-induced acute respiratory failure: A case report and literature review	Case Reports in Women's Health	20210400	Case report
121	Junya Sakuma†, Masahiko Nakata†, Mayumi Takano†, Sumito Nagasaki†, Eijiro Hayata†, Toshimitsu Maemura†, Motoharu Ohtsu†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Prenatal evaluation of functional pulmonary hypoplasia via fetal magnetic resonance imaging	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	20210609	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
122	Shinya Ohira, Manabu Komori, Hidehito Matsui, Hanae Furuya, Riko Kajiwara, Kentaro Matsuura, Kota Wada	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座(大森)	Anatomical Features Around Eustachian Tube in Eosinophilic Otitis Media With Eosinophilic Sinusitis	aryngoscope	20210601	Original Article
123	Akiko Inoue, Yuriko Tanaka, Shinya Ohira, Kentaro Matsuura, Motonari Kondo, Kota Wada	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座(大森), 医学部 医学科 免疫学講座	High CD4+ T-Cell/B-Cell Ratio in the Paranasal Sinus Mucosa of Patients with Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis	International Archives of Otorhinolaryngology	20210730	Original Article
124	Keiko Aso*†, Mari Satoh†	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	ACTH-cortisol dissociation in patients with Kawasaki disease: a retrospective study	Endocrine Journal	20210600	Original Article
125	Mari Satoh*†	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Bone age in prepubertal children with nonfamilial or familial idiopathic short stature and prepubertal short-stature children born small for gestational age: a longitudinal data analysis	Clinical Pediatric Endocrinology	20211000	Original Article
126	Cicconi L, Testi A, Montesinos P, Rego E, Zhu HH, Takahashi H †, Dworzak M, Estey E, Schwarer A, Esteve J, Annibali O, Castelli R, Mirabile M, Angelini M, Lazarevic V, Kumar J, Avvisati G, Gurnari C, Locatelli F, Voso MT, Sanz M, Lo-Coco F, Abela O.	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Characteristics and outcome of acute myeloid leukemia with uncommon retinoic acid receptor- α (RARA) fusion variants.	Blood Cancer Journal	20211016	Original Article
127	Yoshida M, Nakabayashi K, Yang W, Sato-Otsubo A, Tsujimoto S, Ogata-Kawata H, Kawai T, Ishiwata K, Sakamoto M, Okamura K, Yoshida K, Shirai R, Osumi T, Moriyama T, Nishii R, Takahashi H †, Kiyotani C, Shioda Y, Terashima K, Ishimaru S, Yuza Y, Takagi M, Arakawa Y, Kinoshita A, Hino M, Imamura T, Hasegawa D, Nakazawa Y, Okuya M, Kakuda H, Takasugi N, Inoue A, Ohki K, Yoshioka T, Ito S, Tomizawa D, Koh K, Matsumoto K, Sanada M, Kiyokawa N, Ohara A, Ogawa A, Manabe A, Niwa A, Hata K, Yang JJ, Kato M.	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	NUDT15 variants confer high incidence of second malignancies of acute lymphoblastic leukemia in children.	Blood Advances	20211213	Original Article
128	Tanaka T, Kusakabe T, Ebihara K, Aizawa-Abe M, Aotani D, Yorifuji T, Satoh M†, Ogawa Y, Nakao K	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Practice guideline for lipodystrophy syndromes—clinically important diseases of the Japan Endocrine Society (JES)	Endocrine Journal	20210900	Original Article
129	Kazuko Yoshizawa†, Keiko Aso†, Mari Satoh*†	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Predictive effect of antithyroid antibody for relapse of Graves' disease	Pediatrics International	20220100	Original Article
130	Yuki Fujimaki, Takehiko Soutome, Takayuki Tanaka, Takeshi Shiba, Misa Watanabe	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	A familial Mediterranean fever girl due to MEFV N679H mutation with Gilbert's syndrome	Pediatrics International	20210609	Case report
131	Tatsuhiko Yamaoka†, Yoichi Haga†, Naobumi Tochigi†, Masanori Yoshida, Hiroyuki Takahashi†	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Anaplastic sarcoma of the kidney with DICER1 mutation: A case report	Pediatrics International	20211212	Case report
132	Kazuhisa Akiba, Keiko Aso†, Yukihiro Hasegawa, Maki Fukami	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Genome analyses and androgen quantification for an infant with 5 α -reductase type 2 deficiency	Journal of Pediatric Endocrinology & Metabolism	20210624	Case report

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
133	Kazuaki Hashimoto, Takeaki Takeuchi, Takayuki Ueno, Shunsuke Suka, Miki Hiragi, Maya Yamada, Akiko Koyama, Yuza Nakamura, Jun Miyakoda, Masahiro Hashizume	医学部 医学科 心身医学講座(大森)	Effect of central sensitization on dizziness-related symptoms of persistent postural-perceptual dizziness	BioPsychoSocial medicine	20220307	Original Article
134	Kazuaki Hashimoto*†, Masahiro Hashizume†	医学部 医学科 心身医学講座(大森)	Relationship between somatosensory amplification and frequency of vertigo episodes: a study of psychogenic vertigo	Equilibrium Research	20210600	Original Article
135	Ando A, Ohta H, Yoshimura Y, Nakagawa M, Asaka Y, Nakazawa T, Mitani Y, Oishi Y, Mizushima M, Adachi H, Kaneshi Y, Morioka K, Shimabukuro R, Hirata M, Ikeda T, Fukutomi R, Kobayashi K, Ozawa M, Takeshima M, Manabe A, Takahashi T, Mishima K, Kusakawa I, Yoda H†, Kikuchi M, Cho K	医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Sleep maturation influences cognitive development of preterm toddlers	Scientific reports	20211100	Original Article
136	Kenichi Masumoto Satoshi Kusuda	医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Hemodynamic support of the micropreemie: Should hydrocortisone never be left out?	Seminars in Fetal & Neonatal Medicine	20210601	Review
137	Hine, K.*†, Ogata, K.†, Saitou, K.†, Mizukaki, N.†, Arai, H.†, Yoda, H.†	医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Isolation of the Left Subclavian Artery in D-Transposition of the Great Arteries with Right Aortic Arch	Congenital Heart Disease	20210419	Case report
138	Ravichandran R*, Itabashi Y*, Liu W, Bansal S, Rahman M, Poulson C, Fleming T, Bremner RM, Smith M, Mohanakumar T.	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	A decline in club cell secretory proteins in lung transplantation is associated with release of natural killer cells exosomes leading to chronic rejection.	The Journal of heart and lung transplantation : the official publication of the International Society for Heart Transplantation	20210915	Original Article
139	Wada T, Ishimoto T, Nakaya I, Kawaguchi T, Sofue T, Shimizu S, Kurita N, Sasaki S, Nishiwaki H, Koizumi M, Saito S, Nishibori N, Oe Y, Yoshida M, Miyaoka Y, Akiyama S, Itano Y, Okazaki M, Ozeki T, Ichikawa D, Oguchi H, Kohsaka S, Kosaka S, Kataoka Y, Shima H, Shirai S, Sugiyama K, Suzuki T, Son D, Tanaka T, Nango E, Niihata K, Nishijima Y, Nozu K, Hasegawa M, Miyata R, Yazawa M, Yamamoto Y, Yamamoto R, Shibagaki Y, Furuichi K, Okada H, Narita I	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	A digest of the Evidence-Based Clinical Practice Guideline for Nephrotic Syndrome 2020.	Clinical and experimental nephrology	20211200	Original Article
140	Yukio Maruyama, Keitaro Yokoyama, Chieko Higuchi, Tsutomu Sanaka, Yoshihide Tanaka†, Ken Sakai†, Yoshihiko Kanno, Munekazu Ryuzaki, Tsutomu Sakurada, Tatsuo Hosoya, Masaaki Nakayama,	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Clinical feasibility of transfer to combined therapy with peritoneal dialysis and hemodialysis for patients on peritoneal dialysis: A prospective multicenter study in Japan	Therapeutic Apheresis and Dialysis	20220108	Original Article
141	Itabashi Y, Ravichandran R, Bansal S, Bharat A, Hachem R, Bremner R, Smith M, Mohanakumar T.	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Decline in Club Cell Secretory Proteins, Exosomes Induction and Immune Responses to Lung Self-antigens, K α 1 Tubulin and Collagen V, Leading to Chronic Rejection After Human Lung Transplantation.	Transplantation	20210701	Original Article
142	Aoki Y*†, Satoh H, Hamasaki Y†, Hamada R, Harada R, Hataya H, Ishikura K, Muramatsu M†, Shishido S†, Sakai K†	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Incidence of malignancy after pediatric kidney transplantation: a single-center experience over the past three decades in Japan	Clinical and Experimental Nephrology	20210927	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
143	Ishimori S, Ando T, Kikunaga K, Terano C, Sato M, Komaki F, Hamada R, Hamasaki Y†, Araki Y, Gotoh Y, Nakanishi K, Nakazato H, Matsuyama T, Iijima K, Yoshikawa N, Ito S, Honda M, Ishikura K.	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Influenza virus vaccination in pediatric nephrotic syndrome significantly reduces rate of relapse and influenza virus infection as assessed in a nationwide survey.	Scientific Reports	20211202	Original Article
144	Aoki Y*†, Satoh H, Sato A, Morizawa Y, Hamada R, Harada R, Muramatsu M†, Hamasaki Y†, Shishido S†, Sakai K†	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Long-term outcomes of living-donor kidney transplant in children weighing less than 15 kg: comparison of surgical approaches.	Journal of Pediatric Urology	20210528	Original Article
145	Okuda Y, Hamada R, Uemura O, Sakai T, Sawai T, Harada R, Hamasaki Y†, Ishikura K, Hataya H, Honda M	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Mean of creatinine clearance and urea clearance examined over 1 h estimates glomerular filtration rate accurately and precisely in children.	Nephrology (Carlton, Vic.)	20211000	Original Article
146	Uemura O, Ishikura K, Kaneko T, Hirano D, Hamasaki Y†, Ogura M, Mikami N, Gotoh Y, Sahashi T, Fujita N, Yamamoto M, Hibino S, Nakano M, Wakano Y, Honda M.	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Perinatal factors contributing to chronic kidney disease in a cohort of Japanese children with very low birth weight.	Pediatric nephrology (Berlin, Germany)	20210400	Original Article
147	Hasegawa K†, Wada A†, Fukutake K†, Nakamura K†, Nishiwaki Y†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科学講座(大森), 医学部 医学科 社会医学講座/衛生学	Evaluation of Psychosomatic Stress in Elective Spine Surgery by Measurement of Salivary Chromogranin A	Toho Journal of Medicine	20210901	Original Article
148	Ishigaki K†, Aoki H†, Takamatsu R†, Nishiwaki Y†, Takahashi H†, Nakamura T†	医学部 医学科 整形外科学講座(大森), 医学部 医学科 社会医学講座/衛生学	In Vivo Kinematic Analysis of Bicruciate-Retaining Total Knee Arthroplasty Focused on Function of the Anterior Cruciate Ligament	Toho Journal of Medicine	20220300	Original Article
149	Kamakura D†, Fukutake K† (corresponding author), Nakamura K†, Tsuge S†, Hasegawa K†, Tochigi N†, Wada A†, Mikami T†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科学講座(大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Acromegaly presenting with myelopathy due to ossification of posterior longitudinal ligament: a case report	BMC Musculoskeletal Disorders	20210414	Case report
150	Nishina T, Deguchi Y, Ohshima D, Takeda W, Ohtsuka M, Shichino S, Ueha S, Yamazaki S, Kawauchi M, Nakamura E, Nishiyama C, Kojima Y, Adachi-Akahane S, Hasegawa M, Nakayama M, Oshima M, Yagita H, Shibuya K, Mikami T, Inohara N, Matsushima K, Tada N, Nakano H.	医学部 医学科 生化学講座/生化学分野, 医学部 医学科 生化学講座/病態生化学分野, 医学部 医学科 生理学講座/統合生理学, 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Interleukin-11-expressing fibroblasts have a unique gene signature correlated with poor prognosis of colorectal cancer.	Nature Communications	20210416	Original Article
151	Tei Y†, Mikami Y†, Ito M†, Tomida T†, Ohshima D†, Hori Y†*, Adachi-Akahane S†*	医学部 医学科 生理学講座/統合生理学, 医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Pathogenic Mechanism of Dry Eye-Induced Chronic Ocular Pain and a Mechanism-Based Therapeutic Approach	Investigative Ophthalmology & Visual Science	20220104	Original Article
152	Uchino T†, Kotsuji Y, Kitano T†, Shiozawa T, Iida S, Aoki A†, Iwai M†, Shirahata M, Seki A, Mizuno M†, Tanaka K†, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	An integrated youth mental health service in a densely populated metropolitan area in Japan: Clinical case management bridges the gap between mental health and illness services	Early Intervention in Psychiatry	20211107	Original Article
153	Kumagai N, Tajika A, Hasegawa A, Kawanishi N, Fujita H, Tsujino N†, Jinnin R, Uchida M, Okamoto Y, Akechi T, Furukawa TA	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Assessing recurrence of depression using a zero-inflated negative binomial model: A secondary analysis of lifelog data	Psychiatry Research	20210401	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
154	Yasui-Furukori N, Muraoka H, Hasegawa N, Ochi S, Numata S, Hori H, Hishimoto A, Onitsuka T, Ohi K, Hashimoto N, Nagasawa T, Takaesu Y, Inagaki T, Tagata H†, Tsuboi T, Kubota C, Furihata R, Iga J, Iida H, Miura K, Matsumoto J, Yamada H, Watanabe K, Inada K, Shimoda K, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Association between the examination rate of treatment-resistant schizophrenia and the clozapine prescription rate in a nationwide dissemination and implementation study	Neuropsychopharmacology Reports	20211202	Original Article
155	ENIGMA Clinical High Risk for Psychosis Working Group, Jalbrzikowski M, Hayes RA, Wood SJ, Nordholm D, Zhou JH, Fusar-Poli P, Uhlhaas PJ, Takahashi T, Sugranyes G, Kwak YB, Mathalon DH, Katagiri N† (12/118), Mizuno M† (77/118), Nemoto T† (82/118), Hernaus D	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Association of Structural Magnetic Resonance Imaging Measures With Psychosis Onset in Individuals at Clinical High Risk for Developing Psychosis: An ENIGMA Working Group Mega-analysis	JAMA Psychiatry	20210701	Original Article
156	Okano H, Kubota R, Okubo R, Hashimoto N, Ikezawa S, Toyomaki A, Miyazaki A, Sasaki Y, Yamada Y, Nemoto T†, Mizuno M†	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Evaluation of social cognition measures for Japanese patients with schizophrenia using an expert panel and modified Delphi method	Journal of Personalized Medicine	20210406	Original Article
157	Nemoto T*†, Takeshi K†, Niimura H, Tobe M†, Ito R, Kojima A†, Saito H†, Funatogawa T†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Tsujino N†, Mizuno M†	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Feasibility and acceptability of cognitive rehabilitation during the acute phase of schizophrenia	Early Intervention in Psychiatry	20210600	Original Article
158	Obata Y†, Kubota-Sakashita M, Kasahara T, Mizuno M†, Nemoto T†, Kato T	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Phenethylamine is a substrate of monoamine oxidase B in the paraventricular thalamic nucleus	Scientific Reports	20220107	Original Article
159	Takubo Y†, Tsujino N*†, Aikawa Y, Fukiya K, Iwai M†, Uchino T†, Ito M, Akiba Y, Mizuno M†, Nemoto T†	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Psychological impacts of the COVID-19 pandemic on one-month postpartum mothers in a metropolitan area of Japan	BMC Pregnancy and Childbirth	20211228	Original Article
160	Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Nishiyama S, Mizukami Y, Katagiri N†, Tsujino N†, Nemoto T†, Sakuma A, Katsura M, Ohmuro N, Okada N, Tada M, Suga M, Maikusa N, Koike S, Furuichi A, Kido M, Noguchi K, Yamasue H, Matsumoto K, Mizuno M†, Kasai K, Suzuki M	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Reduced cortical thickness of the paracentral lobule in at-risk mental state individuals with poor 1-year functional outcomes	Translational Psychiatry	20210714	Original Article
161	Kubota R, Okubo R, Akiyama H, Okano H, Ikezawa S, Miyazaki A, Toyomaki A, Sasaki Y, Yamada Y, Uchino T†, Nemoto T†, Sumiyoshi T, Yoshimura N, Hashimoto N	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Study protocol: The Evaluation study for Social Cognition Measures in Japan (ESCoM)	Journal of Personalized Medicine	20210716	Original Article
162	Fukuya Y†, Funatogawa T†, Inoue A†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座(大森・大橋)	Parkinsonism induced by duloxetine in a patient with schizoaffective disorder: a case report	Psychiatry Research Case Reports	20220314	Case report
163	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Yuka Masuyama†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Mitsuru Honda†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Association of red blood cell and platelet transfusions with persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome in critically ill patients	Scientific Reports	20220112	Original Article
164	Shun Yamashita, Yosuke Sasaki, Miyagami Taiju, Takeshi Kondo	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Five tips to help young, non-native speakers of English write reports of cases presented at academic conferences	Journal of Hospital General Medicine	20220100	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
165	Tago M, Watarai T, Shikino K, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Five Tips for Becoming an Ideal General Hospitalist	International Journal of General Medicine	20211230	Original Article
166	Tago M, Watari T, Shikino K, Sasaki Y†, Takahashi T, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Five tips on clinical research for young Japanese generalists	Journal of Hospital Medicine	20210500	Original Article
167	Yamashita S, Sasaki Y†, Miyagami T, Kondo T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Five tips to help young,non-native speakers of English write reports of cases presented at academic conferences	Journal of hospital general medicine	20220100	Original Article
168	Shigeta T†, Sasaki Y†, Maeda T†, Hanji E†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Pseudo-thrombotic microangiopathy caused by acquired cobalamin deficiency due to unintentional neglect	Internal Medicine	20211201	Original Article
169	Tago M, Watari T, Shikino K, Yamashita S, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Research trends of general hospitalists in Japan:a cross-sectional questionnaire-based personal survey	Journal of hospital general medicine	20211100	Original Article
170	Takayama W, Endo A, Murata K, Hoshino K, Kim S, Shinozaki H, Harada K, Nagano H, Hagiwara M, Tsuchihashi A, Shimada N†, Kitamura N, Kuramoto S, Otomo Y.	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	The impact of blood type on the mortality of patients with severe abdominal trauma: a multicenter observational study.	scientific reports	20210809	Original Article
171	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Mitsuru Honda†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Urinary liver-type fatty acid-binding protein variation as a predictive value of short-term mortality in intensive care unit patients	Renal Failure	20210630	Original Article
172	Ichibayashi R*†, Suzuki G†, Nakamichi Y†, Masuyama Y†, Yamamoto S†, Serizawa H†, Watanabe M†, Aoyama K†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Management of organic phosphorus poisoning using a pupillometer: a case report	QJM: An International Journal of Medicine	20220303	Case report
173	Ginga Suzuki†, Hiromi Kanayama†, Ryo Ichibayashi†, Yoshiaki Arai†, Yuji Iwanami†, Yuka Masuyama†, Saki Yamamoto†, Hibiki Serizawa†, Yoshimi Nakamichi†, Masayuki Watanabe†, Mitsuru Honda†, Satoru Ebihara†,	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Early mobilization using a mobile patient lift in the intensive care unit: Protocol for a randomized controlled trial	BMJ Open	20220310	Others
174	Sasaki Y†, Komatsu F†, Kashima N†, Maeda T†, Honda Y†, Shimada N†, Funahashi K†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Clinical characteristics of older Japanese patients with acute appendicitis: A post hoc analysis	Journal of General and Family Medicine	20220100	Original Article
175	Kido H, Kato S, Funahashi K†, Kazutoshi Shibuya K†, Sasaki Y†, Urita Y†, Hori M†, Mizumura S†,	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	The metabolic parameters based on volume in PET/CT are associated with clinicopathological N stage of colorectal cancer and can predict prognosis	EJNMMI Research	20210906	Original Article
176	Sasaki Y†, Koumura M†, Kaneko K†, Maeda T†, Shigeta T†, Komatsu F†, Yamada A†, Saito T†, Sekiya H†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 口腔外科学研究室(大森)	Iatrogenic pneumomediastinum presenting with facial due to a dental procedure	Journal of hospital general medicine	20220300	Case report

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
177	Nagase D†, Sasaki Y†, Hirota A†, Irita H†, Onda N†, Natori K†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野(大森)	Cold agglutinin disease initially regarded as mechanical hemolysis and alcoholism	Journal of hospital general medicine	20220300	Case report
178	Nagase D†, Sasaki Y†, Saito T†, Yamada A†, Hirota A†, Irita H†, Onda N†, Natori K†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野(大森)	Secondary hypereosinophilic syndrome triggered by sublingual immunotherapy	Journal of hospital general medicine	20220300	Case report
179	Ichibayashi R*†, Suzuki G†, Nakamichi Y†, Yamamoto S†, Serizawa H†, Watanabe M†, Harada M†, Harada N†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森)	Penetrating vertebral artery injury treated by combining the “zone” approach and imaging tests: A case report.	clinical case reports	20211122	Case report
180	Maeda T†, Zai H†, Fukui Y†, Kato Y, Kumade E†, Watanabe T, Furusyo N, Nakajima H, Arai K, Ishii Y†, Tateda K†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Impact of Helicobacter pylori Infection on Fluid Duodenal Microbial Community Structure and Microbial Metabolic Pathways	BMC Microbiol	20220115	Original Article
181	Aoki K†, Nagasawa T†, Ishii Y†, Yagi S, Okuma S, Kashiwagi K†, Maeda T†, Sato T†, Miyazaki T†, Yoshizawa S†, Tateda K†,	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 研究推進室	Clinical validation of quantitative SARS-CoV-2 antigen assays to estimate SARS-CoV2 viral loads in nasopharyngeal swabs	Journal of Infection and Chemotherapy	20210400	Original Article
182	Maeda T†, Kashiwagi K†, Yoshizawa S†, Sato T†, Aoki K†, Ishii Y†, Tateda K†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	Early Anti-SARS-CoV-2 Immunoglobulin G Response May Be Associated with Disease Severity in Patients with COVID-19	Japanese Journal of Infectious Diseases	20211130	Review
183	Koichiro Tanaka , Koki Chiba, Kazuhiko Nara	医学部 医学科 東洋医学研究室(大森)	A Review on the Mechanism and Application of Keishibukuryogan	Frontiers in Nutrition	20211200	Review
184	Naohisa Urabe†, Susumu Sakamoto, Yui Shimanuki, Takumi Kanokogi, Takumi Motohashi, Nanami Anzai, Chiaki Kato, Asuka Yamaguchi, Nozomi Tokita, Sakae Homma, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Impact of chronic co-infection in pulmonary Mycobacterium avium complex disease after treatment initiation	BMC Pulmonary Medicine	20220425	Original Article
185	Takuma Isshiki†, Kazuya Koyama, Sakae Homma, Susumu Sakamoto, Akira Yamasaki, Hiroshige Shimizu, Shion Miyoshi, Yasuhiko Nakamura, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Association of rs3750920 polymorphism in TOLLIP with clinical characteristics of fibrosing interstitial lung diseases in Japanese	Scientific reports	20210810	Original Article
186	Hiroshige Shimizu†, Susumu Sakamoto, Masaki Okamoto, Takuma Isshiki, Junya Ono, Shigeaki Shimizu, Tomoaki Hoshino, Kenji Izuhara , Sakae Homma	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Association of serum monomeric periostin level with outcomes of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis and fibrosing nonspecific interstitial pneumonia	Annals of Translational Medicine	20210521	Original Article
187	Susumu Sakamoto†, Hiroshige Shimizu, Takuma Isshiki, Yasuhiko Nakamura, Atsuko Kurosaki, Kazutoshi Isobe, Sakae Homma	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Effectiveness of pirfenidone for idiopathic pulmonary fibrosis associated with pleuroparenchymal fibroelastosis-like lesions and nonspecific interstitial pneumonia	The Clinical Respiratory Journal	20210515	Original Article
188	Takuma Isshiki†, Sakae Homma, Yoshinobu Eishi, Matsuko Yabe, Kazuya Koyama, Yasuhiko Nishioka, Tetsuo Yamaguchi, Keisuke Uchida, Kurara Yamamoto, Kenichi Ohashi, Atsushi Arakawa, Kazutoshi Shibuya, Susumu Sakamoto, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Immunohistochemical Detection of Propionibacterium acnes in Granulomas for Differentiating Sarcoidosis from Other Granulomatous Diseases Utilizing an Automated System with a Commercially Available PAB Antibody	Microorganisms	20210804	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
189	Kazutoshi Isobe†, Takahiro Yoshizawa, Muneyuki Sekiya, Shion Miyoshi, Yasuhiko Nakamura, Naohisa Urabe, Takuma Isshiki, Susumu Sakamoto, Yujiro Takai, Taichiro Tomida, Satomi Adachi-Akahane, Akira Iyoda, Sakae Homma, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Quantification of BIM mRNA in Circulating Tumor Cells of Osimertinib-treated Patients with EGFR Mutation-positive Lung Cancer	respiratory investigation	20210429	Original Article
190	Takuma Isshiki†, Hiroshige Shimizu, Susumu Sakamoto, Akira Yamasaki, Shion Miyoshi, Yasuhiko Nakamura, Sakae Homma, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Serum autotaxin levels in chronic disease and acute exacerbation of fibrosing interstitial lung disease.	ERJ open research	2022411	Original Article
191	Shion Miyoshi†, Kyohei Kaburaki, Hajime Otsuka, Kazuma Kishi	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Spigot in pneumothorax cavity: A rare complication of endobronchial Watanabe spigot	Respirology Case Reports	20210805	Original Article
192	Urabe N, Sakamoto S, Ito A, Sekiguchi R, Shimanuki Y, Kanokogi T, Motohashi T, Anzai N, Homma S, Kishi K.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Bronchial brushing and diagnosis of pulmonary <D>nontuberculous mycobacteria</D> infection.	Respiration	20210527	Original Article
193	Kageaki Watanabe, Kiyotaka Yoh, Yukio Hosomi, Kazuhiro Usui, Go Naka, Kazuma Kishi†, Kohei Uemura, Yasuo Ohashi, Hideo Kunitoh	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Efficacy and safety of first-line osimertinib treatment and postprogression patterns of care in patients with epidermal growth factor receptor activating mutation-positive advanced non-small cell lung cancer (Reiwa study): study protocol of a multicentre, real-world observational study	BMJ open	20220100	Original Article
194	Miyako Satouchi, Kaname Nosaki, Toshiaki Takahashi, Kazuhiko Nakagawa, Keisuke Aoe, Takayasu Kurata, Akimasa Sekine, Atsushi Horiike, Tatsuro Fukuhara, Shunichi Sugawara, Shigeki Umemura, Hideo Saka, Isamu Okamoto, Nobuyuki Yamamoto, Hiroshi Sakai, Kazuma Kishi†, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	First-line pembrolizumab vs chemotherapy in metastatic non-small-cell lung cancer: KEYNOTE-024 Japan subset	CANCER SCIENCE	20210900	Original Article
195	©Takuma Isshiki†, Susumu Sakamoto†, Akira Yamasaki†, Hiroshige Shimizu†, Shion Miyoshi†, Yasuhiko Nakamura†, Sakae Homma†, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Incidence of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis in patients receiving antifibrotic agents: Real-world experience	Respiratory Medicine	20210726	Original Article
196	Takahiro Yoshizawa†, Ken Uchibori, Mitsugu Araki, Shigeyuki Matsumoto, Biao Ma, Ryo Kanada, Yosuke Seto, Tomoko Oh-hara, Sumie Koike, Ryo Ariyasu, Satoru Kitazono, Hironori Ninomiya, Kengo Takeuchi, Noriko Yanagitani, Satoshi Takagi, Kazuma Kishi†, Naoya Fujita, Yasushi Okuno, Makoto Nishio & Ryohei Katayama	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Microsecond-timescale MD simulation of EGFR minor mutation predicts the structural flexibility of EGFR kinase core that reflects EGFR inhibitor sensitivity	npj Precision Oncology	20210416	Original Article
197	Susumu Sakamoto, Hiroshige Shimizu, Takuma Isshiki, Yasuhiko Nakamura, Yusuke Usui, Atsuko Kurosaki, Kazutoshi Isobe, Yujiro Takai, Sakae Homma	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	New risk scoring system for predicting 3-month mortality after acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	Scientific Reports	20220122	Original Article
198	Ryo Sekiguchi†, Naohisa Urabe†, Susumu Sakamoto†, Masakazu Sasaki, Sakae Homma†, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Exophiala dermatitidis pneumonia with bronchiectasis required prolonged voriconazole treatment	Respirology Case Reports	20210525	Case report

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
199	Kazutoshi Isobe†, Takahiro Yoshizawa†, Muneyuki Sekiya†, Shion Miyoshi†, Yasuhiko Nakamura†, Naohisa Urabe†, Takuma Isshiki†, Susumu Sakamoto†, Yujiro Takai†, Taichiro Tomida, Satomi Adachi-Akahane, Akira Iyoda†, Sakae Homma, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Quantification of BIM mRNA in circulating tumor cells of osimertinib-treated patients with EGFR mutation-positive lung cancer	Respiratory Investigation	20210429	Original Article
200	Oka T +, Nakanishi R +*, Kabuki T +, Hashimoto H +, Fujii T +, Dobashi S +, Ikeda T +	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Appropriate Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension Improves Right Ventricular Ejection Fraction via Lung Perfusion Scan	Int Heart J	20220129	Original Article
201	Ota K+, Nakanishi R +*, Hashimoto H+, Okamura Y+, Watanabe I+, Yabe T+, Okubo R+, Ikeda T+	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Association between coronary artery calcium score on non-contrast chest computed tomography and all-cause mortality among patients with congestive heart failure	Heart Vessels	20220201	Original Article
202	Ishida S*†, Hashimoto H†, Nakanishi R†, Mizumura S†, Yamazaki J, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Association between the Clinical Incidence of Cardiac Risk and ¹²³ I-Betamethyl-p-Iodophenyl-Pentadecanoic Acid Single-Photon Emission Computed Tomography in Patients with Vasospastic Angina	Toho J Med	20220301	Original Article
203	Shaikh K, Bhondoekhan F, Haberlen S, Nakanishi R†, Roy SK, Alla VM, Brown TT, Lee J, Osawa K, Almeida S, Rahmani S, Nezarat N, Sheidaee N, Kim M, Jayawardena E, Kim N, Hathiramani N, Palella FJ, Witt M, Ahmad K, Kingsley L, Post WS, Budoff MJ.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Coronary artery plaque progression and cardiovascular risk scores in men with and without HIV-infection	AIDS	20220201	Original Article
204	Katoh T, Yashima M, Takahashi N, Watanabe E, Ikeda T, Kasamaki Y, Sumitomo N, Ueda N, Morita H, Hiraoka M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Expert consensus document on automated diagnosis of the electrocardiogram : The task force on automated diagnosis of the electrocardiogram in Japan Part 2: Current status of inappropriate automated diagnosis is widely used electrocardiographs in Japan	J Arrhythm 37	20211019	Original Article
205	Katoh T, Yashima M, Takahashi N, Watanabe E, Ikeda T†, Kasamaki Y, Sumitomo N, Ueda N, Morita H, Hiraoka M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Expert consensus document on automated diagnosis of the electrocardiogram: The task force on automated diagnosis of the electrocardiogram in Japan. Part1: Nomenclature for diagnosis and abnormal findings.	J Arrhythm	20210614	Original Article
206	©Noike R†, Amano H†, Suzuki S, Kano H, Oikawa Y, Yajima J, Hirano S†, Kojima Y†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, Yabe T†, Okubo R†, Nakanishi R, †, Arita T, Yagi N, Kishi M, Semba H, Matsuno S, Kato Y, Otsuka T, Uejima T, Matsuhama M, Iida M, Yamashita T, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Glasgow prognostic score can be a prognostic indicator after percutaneous coronary intervention: a two-center study in Japan	Heart Vessels	20220601	Original Article
207	©Amano H†, Kojima Y†, Hirano S†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Healed neointima of in-stent restenosis lesions in patients with stable angina pectoris: an intracoronary optical coherence tomography study	Heart Vessels	20220101	Original Article
208	© Kameshima H、Izumo M、Suzuki T、Ohara H†、Sato Y、Watanabe M、Kuwata S、Okuyama K、Kamijima R、Takai M、Kou S、Tanabe Y、Harada T、Yoshihiro J.Akashi	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Impact of Prosthesis-Patient Mismatch on Hemodynamics During Exercise in Patients With Aortic Stenosis After Transcatheter Aortic Valve Implantation With a Balloon-Expandable Valve	Front Cardiovasc Med	20220131	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
209	Yamagishi M, Tamaki N, Akasaka T, Ikeda T†, Ueshima K, Uemura S, Otsuji Y, Kihara Y, Kimura K, Kimura T, Kusama Y, Kumita S, Sakuma H, Jinzaki M, Daida H, Takeishi Y, Tada H, Chikamori T, Tsujita K, Teraoka K, Nakajima K, Nakata T, Nakatani S, Nogami A, Node K, Nohara A, Hirayama A, Funabashi N, Miura M, Mochizuki T, Yokoi H, Yoshioka K, Watanabe M, Asanuma T, Ichikawa Y, Ohara T, Kaikita K, Kasai T, Kato E, Kamiyama H, Kawashiri M, Kiso K, Kitagawa K, Kido T, Kinoshita T†, Kiriyama T, Kume T, Kurata A, Kurisu S, Kosuge M, Kodani E, Sato A, Shiono Y, Shiomi H, Taki J, Takeuchi M, Tanaka A, Tanaka N, Tanaka R, Nakanishi T, Nakahara T, Nomura A, Hashimoto A, Hayashi K, Higashi M, Hiro T, Fukamachi D, Matsuo H, Matsumoto N, Miyauchi K, Miyagawa M, Yamada Y, Yoshinaga K, Wada H, Watanabe T, Ozaki Y, Kohsaka S, Shimizu W, Yasuda S, Yoshino H, on behalf of the Japanese Circulation Society Working Group	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	JCS 2018 guideline on diagnosis of chronic coronary heart diseases.	Circ J	20210400	Original Article
210	©Murakami Y†, Shinohara †, Oka Y†, Wada R†, Noike R†, Ohara H†, Fujino T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Myocarditis Following a COVID-19 Messenger RNA Vaccination : A Japanese Case Series	Intern Med	20220215	Original Article
211	©Hashimoto H†, Nakanishi R†, Mizumura S†, Hashimoto Y†, Okamura Y†, Ota K†, Yamazaki J†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Prognostic values of coronary artery calcium score and 123I-BMIPP SPECT in patients with non-ischemic heart failure with preserved ejection fraction	Int J Cardiovasc Imaging	20211201	Original Article
212	Madaj P, Li D, Nakanishi R+, Andreini D, Pontone G, Conte E, O'Rourke R, Hamilton-Craig C, Nimmagadda M, Kim N, Fatima B, Dailing C, Shaikh K, Shekar C, Lee JH, Budoff MJ.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Radiation Doses in Patients Undergoing Computed Tomographic Coronary Artery Calcium Evaluation With a 64-Slice Scanner Versus a 256-Slice Scanner	Tex Heart Inst J	20220301	Original Article
213	Ikeda T†, Ogawa S, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Miyamoto S, Murakawa Y, Iwoshiro S, Okayama Y, Sunaya T, Hirano K, Hayasaki T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Real-world safety and effectiveness of rivaroxaban using Japan-specific dosage during long-term follow-up in patients with atrial fibrillation: XAPASS.	PLoS ONE	20210611	Original Article
214	©Msaya S†, Ryo W†, Kensuke Y†, Katuya A†, Hideki K†, Toshio K†, Fujino T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Relationship between the nutritional status and safety and efficacy outcomes in atrial fibrillation patients aged 80 years and over receiving oral anticoagulants	J Cardiol	20210201	Original Article
215	Yamashita T, Suzuki S, Inoue H, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Okumura K, Koretsune Y, Shimizu W, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Kaburagi J, Takita A	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Two-year outcomes of more than 30 000 elderly patients with atrial fibrillation: results from the All Nippon AF In the Elderly (ANAFIE) Registry.	Euro Heart J Qual Care Clin	20220302	Original Article
216	Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Management of hypertension associated with cardiovascular failure	J Cardiol	20220601	Review
217	Rine Nakanishi, Kazuhiro Osawa, Akira Kurata, Toru Miyoshi	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Role of coronary computed tomography angiography (CTA) post the ISCHEMIA trial: Precision prevention based on coronary CTA-derived coronary atherosclerosis	J Cardiol	20220501	Review

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
218	Yamada Y†, Sasaki T, Takeda T, Mie T, Furukawa T, Kasuga A, Matsuyama M, Ozaka M, Igarashi Y†, Sasahira N	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	A novel laser-cut fully covered metal stent with anti-reflux valve in patients with malignant distal biliary obstruction refractory to conventional covered metal stent	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	20210400	Original Article
219	Nakagomi E†, Mikami T†, Funahashi K†, Okazumi S†, Shibuya K†, Hiruta N†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Cancer stem cell markers CD44v9+/CD133- are associated with low apoptosis in both sporadic and ulcerative colitis-associated colorectal cancers.	Histology and histopathology	20220200	Original Article
220	Watanabe K†, Kamisawa T, Chiba K, Kikuyama M, Nakahodo J, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Gallbladder wall thickening in patients with IgG4-related diseases, with special emphasis on IgG4-related cholecystitis	Scandinavian journal of gastroenterology	20210900	Original Article
221	©Kishimoto Y†, Okano N†, Ito K†, Takuma K†, Hara S†, Iwasaki S†, Yoshimoto K†, Yamada Y†, Watanabe K†, Kimura Y†, Nakagawa H†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Peroral Pancreatography with Videoscopy and Narrow-Band Imaging in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms with Dilatation of the Main Pancreatic Duct	Clinical Endoscopy	20211200	Original Article
222	Ogino Y†, Wakui N†, Nagai H†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	The ultrasound-guided attenuation parameter is useful in quantification of hepatic steatosis in non-alcoholic fatty liver disease	Journal of gastroenterology and hepatology	20210700	Original Article
223	Mitsuko Inuyama†, Yusuke Horiuchi *, Noriko Yamamoto, Shoichi Yoshimizu, Akiyoshi Ishiyama, Toshiyuki Yoshio, Toshiaki Hirasawa, Tomohiro Tsuchida, Yoshinori Igarashi†, Junko Fujisaki	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Usefulness of Magnifying Endoscopy with Narrow-Band Imaging for Diagnosing Mixed Poorly Differentiated Gastric Cancers	Digestion	20210817	Original Article
224	Matsui T†, Nagai H†, Watanabe G†, Yoshimine N†, Amanuma M†, Kobayashi K†, Ogino Y†, Mukozu T†, Matsukiyo Y†, Daido Y†, Wakui N†, Nakano S†, Shinohara M†, Momiyama K†, Kudo T, Maruyama K, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Usefulness of virtual touch tissue quantification for predicting the presence of esophageal varices in patients with liver cirrhosis.	Journal of gastroenterology and hepatology	20210400	Original Article
225	Yasuyuki Kagawa, Masakatsu Fukuzawa, Mitsushige Sugimoto *, Daiki Nemoto, Takahiro Muramatsu, Hirokazu Shinohara, Taisuke Matsumoto, Akira Madarame, Hayato Yamaguchi, Kumiko Uchida, Takashi Morise, Yohei Koyama, Akihiko Sugimoto, Yoshiya Yamauchi, Shin Kono, Sakiko Naito, Kei Yamamoto, Yoshiko Kishimoto, Mitsuko Inuyama†, Takashi Kawai, Takao Itoi	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Validation of the BEST-J score, a prediction model for bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: a multicenter retrospective observational study	Surgical Endoscopy	20220222	Original Article
226	Itoi T, Ryozaawa S, Katanuma A, Kawashima H, Iwasaki E, Hashimoto S, Yamamoto K, Ueki T, Igarashi Y†, Inui K, Fujita N, Fujimoto K	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Clinical Practice Guidelines for Endoscopic Papillectomy	Digestive Endoscopy	20220300	Review
227	Hatano T, Kano O†, Sengoku R, Yoritaka A, Suzuki K, Nishikawa N, Mukai Y, Nomura K, Yoshida N, Seki M, Kawabe Matsukawa M, Terashi H, Kimura K, Tashiro J, Hirano S, Murakami H, Joki H, Uchiyama T, Shimura H, Ogaki K, Fukae J, Tsuboi Y, Takahashi K, Yamamoto T, Yanagisawa N, Nagayama H	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Evaluating the impact of adjunctive istradefylline on the cumulative dose of levodopa-containing medications in Parkinson's disease: study protocol for the ISTRA ADJUST PD randomized, controlled study	BMC neurology	20220303	Original Article
228	Ebina J†, Hara K, Watanabe H, Kawabata K, Yamashita F, Kawaguchi A, Yoshida Y, Kato T, Ogura A, Masuda M, Ohdake R, Mori D, Maesawa S, Katsuno M, Kano O†, Sobue G	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Individual voxel-based morphometry adjusting covariates in multiple system atrophy	Parkinsonism & related disorders	20210900	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
229	Tohnai G, Nakamura R, Atsuta N, Nakatochi M, Hayashi N, Ito D, Watanabe H, Watanabe H, Katsuno M, Izumi Y, Taniguchi A, Kanai K, Morita M, Kano O†, Kuwabara S, Oda M, Abe K, Aoki M, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Ishihara T, Kawata A, Yokota T, Hasegawa K, Nagano I, Yabe I, Tanaka F, Kuru S, Hattori N, Nakashima K, Kaji R, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis Research (JaCALS)	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森)	Mutation screening of the DNAJC7 gene in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Neurobiology of aging	20211211	Original Article
230	Hirayama T†, Izumi Y, Nakayama Y, Shibukawa M†, Ebihara S†, Kano O†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Communicating the diagnosis: a survey of patients with amyotrophic lateral sclerosis and their families in Japan	Acta neurologica Belgica	20210916	Original Article
231	Ebina J†, Ebihara S†, Kano O*†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Similarities, differences and overlaps between frailty and Parkinson's disease	Geriatrics & Gerontology International	20220303	Original Article
232	Yanagihashi M†, Sugisawa T, Fuchimoto M, Saotome Y, Onozawa K, Matsumoto Y, Bokuda K, Ebina J†, Shibukawa M†, Hirayama T†, Murakami Y†, Washizawa N†, Ebihara S†, Kano O*†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野(大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森), 医学部 医学科 臨床支援室	Contradictory Responses to the COVID-19 Pandemic in Amyotrophic Lateral Sclerosis Patients and Their Families and Caregivers in Japan	Internal Medicine	20210515	Original Article
233	Miyoshi H, Baxter M, Kimura T, Hattori M, Morimoto Y, Marinkovich D, Tamiwa M, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	A real-world, observational study of the initiation, use, and effectiveness of basal-bolus or premixed insulin in Japanese people with type 2 diabetes.	Diabetes Therapy	20210500	Original Article
234	Shigiyama F†, Liu L, Nordahl H, Suzuki R, Yamamoto Y, Hirose T†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	A real-world, prospective, non-interventional study of adults with T2D switching to IDegAsp from glargine U100 or U300 in Japan.	Diabetes Therapy	20210900	Original Article
235	Higa M*, Ichijo T, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Aldosterone-to-renin ratio is associated with diabetic nephropathy in type 2 diabetic patients: A single-center retrospective study.	Medical Science Monitor	20220300	Original Article
236	Yoshikawa F†, Kumashiro N†, Shigiyama F†, Miyagi M†, Ando Y†, Uchino H†, Hirose T†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Changes in subjective sleep quality in patients with type 2 diabetes who did not use Sleep agents: a cross-sectional study according to age and clinical background.	Diabetology International	20210600	Original Article
237	Yoshikawa F†, Uchino H†*, Nagashima T, Usui S, Miyagi M†, Ando Y†, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor improves glycemic variability in multiple daily insulin-treated type 2 diabetes: a prospective randomized-controlled trial.	Diabetology International	20210600	Original Article
238	Yang W, Akhtar S, Franek E, Haluzik M, Hirose T†, Kalyanam B, Kar S, Wu T, Gogas Yavuz D, Unnikrishnan AG	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Postprandial glucose excursions in Asian versus non-Asian patients with type 2 diabetes: A post hoc analysis of baseline data from phase 3 randomised controlled trials of IDegAsp.	Diabetes Therapy	20220200	Original Article
239	Sato G†, Uchino H†*, Shimizu Y†, Tatebe J†, Morita T†, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Quantitative evaluation of insulin-induced abdominal subcutaneous dystrophic tissue using shear wave elastography.	Journal of Diabetes Investigation	20220100	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
240	Ando Y†, Shigiyama F†, Hirose T†, Kumashiro N†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Simplification of complex insulin regimens using canagliflozin or liraglutide in patients with well-controlled type 2 diabetes: A 24-week randomized controlled trial.	Journal of Diabetes Investigation	20211000	Original Article
241	Sei Muraoka, Zento Yamada, Mai Kawazoe, Wataru Hirose, Hajime Kono, Shinsuke Yasuda, Yukiko Komano, Hiroshi Kawano, Toshihiko Hidaka, Shusaku Nakashima, Tsuyoshi Kasama, Tamio Teramoto, Toshihiro Nanki, and the ABT-ATS study group.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Abatacept is efficacious in the treatment of older patients with csDMARD-refractory rheumatoid arthritis: a prospective, multicenter, observational study. Rheumatol.	Rheumatology and Therapy	20211200	Original Article
242	Suguru Honda, Ryoko Sakai, Eisuke Inoue, Masako Majima, Naoko Konda, Hideto Takada, Mari Kihara, Nobuyuki Yajima, Toshihiro Nanki, Kazuhiko Yamamoto, Tsutomu Takeuchi, Masayoshi Harigai.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Association of methotrexate use and lymphoproliferative disorder in patients with rheumatoid arthritis: results from a Japanese multi-institutional retrospective study.	Mod Rheumatol	20220100	Original Article
243	Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki, Noboru Hagino, Noriko Ikegaya, Satoshi Ito, Masanari Koderia, Naoko Nakano, Miki Suzuki, Shinya Kaname, Masayoshi Harigai.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Clinical characteristics of patients with polyarteritis nodosa based on a nationwide database in Japan.	Modern Rheumatology	20220300	Original Article
244	Sei Muraoka, Kaichi Kaneko, Kaori Motomura, Junko Nishio, Toshihiro Nanki.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	CX3CL1/fractalkine regulates the differentiation of human peripheral blood monocytes and monocyte-derived dendritic cells into osteoclasts.	Cytokine	20211000	Original Article
245	Naoto Tamura, Takanori Azuma, Kenta Misaki, Rei Yamaguchi, Fuminori Hirano, Eiji Sugiyama, Daisuke Kanai, Yohko Murakawa, Motohiro Oribe, Takahito Kimata, Kazutoshi Aoki, Tomoko Sugiura, Koji Takasugi, Yuya Takakubo, Yasuyuki Tomita, Takeo Isozaki, Toshihiro Nanki, Naoki Katsuyama, Takanori Kuroiwa, Hideto Oshikawa, Motohide Kaneko, Hiroshi Fujinaga, Kiwamu Saito, Eiichi Tanaka, Eisuke Inoue, Yuri Yoshizawa, Shigeru Matsumoto, Hisashi Yamanaka, Masayoshi Harigai.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Effectiveness and safety of subcutaneous abatacept in biologic-naïve RA patients at week 52: A Japanese multicenter investigational study (ORIGAMI Study).	Modern Rheumatology	20211008	Original Article
246	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Efficacy and safety of E6011, an anti-fractalkine monoclonal antibody, in active rheumatoid arthritis patients with inadequate response to methotrexate: Results of a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2 study	Arthritis & Rheumatology	20210400	Original Article
247	Kaichi Kaneko, Kotaro Shikano, Mai Kawazoe, Shinichi Kawai, Toshihiro Nanki.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Efficacy of denosumab for osteoporosis in patients with rheumatic diseases.	Internal Medicine	20220101	Original Article
248	Mai Kawazoe, Kaichi Kaneko, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Glucocorticoid therapy suppresses Wnt signaling by reducing the ratio of serum Wnt3a to Wnt inhibitors, sFRP-1 and Wif-1	CLINICAL RHEUMATOLOGY	20210700	Original Article
249	Wataru Hirose, Masayoshi Harigai, Koichi Amano, Toshihiko Hidaka, Kenji Itoh, Kazutoshi Aoki, Masahiro Nakashima, Hayato Nagasawa, Yukiko Komano, Toshihiro Nanki, for the TOF-ABT Study Group.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Impact of the HLA-DRB1 shared epitope on responses to treatment with tofacitinib or abatacept in patients with rheumatoid arthritis	ARTHRITIS RESEARCH & THERAPY	20210831	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
250	Kenji Nagasaka, Shinya Kaname, Koichi Amano, Masaru Kato, Yasuhiro Katsumata, Yoshinori Komagata, Ken-Ei Sada, Eiichi Tanaka, Naoto Tamura, Hiroaki Dobashi, Toshihiro Nanki, Yasuaki Harabuchi, Masashi Bando, Sakae Homma, Takashi Wada, Masayoshi Harigai.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Nation-wide survey of the treatment trend of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan using the Japanese Ministry of Health, Labour, and Welfare Database.	Modern Rheumatology	20211007	Original Article
251	Tomoaki Ishigami, Toshihiro Nanki, Takuya Sugawara, Kotaro Uchida, Hiroyuki Takeda, Tatsuya Sawasaki, Lin Chen, Hiroshi Doi, Kentaro Arakawa, Sae Saigo, Ryusuke Yoshimi, Masataka Taguri, Kazuo Kimura, Kiyoshi Hibi, Hiromichi Wakui, Kengo Azushima, Kouichi Tamura, On Behalf Of Oracle Arthritis Investigators	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Rationale and Design of the Orenca Atherosclerosis and Rheumatoid Arthritis Study (ORACLE Arthritis Study): Implications of Biologics against Rheumatoid Arthritis and the Vascular Complications, Subclinical Atherosclerosis	Methods Protoc.	20211115	Original Article
252	A. Krez, J. Lane, A. Heilbronner, K.-H. Park-Min, K. Kaneko, T. Pannellini, D. Mintz, D. Hansen, D.J. McMahon, K.A. Kirou, G. Roboz, P. Desai, R.S. Bockman & E.M. Stein	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Risk factors for multi-joint disease in patients with glucocorticoid-induced osteonecrosis.	Osteoporos Int	20210420	Original Article
253	Hiroshi Sato, Soichi Yamada, Sei Muraoka, Shotaro Masuoka, Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Treatment of refractory RS3PE syndrome with tocilizumab: A case report	J Clin Rheumatol	20211200	Original Article
254	Satoshi Mizutani, Junko Nishio, Kanoh Kondo, Kaori Motomura, Zento Yamada, Shotaro Masuoka, Soichi Yamada, Sei Muraoka, Naoto Ishii, Yoshikazu Kuboi, Sho Sendo, Tetuo Mikami, Toshio Imai, Toshihiro Nanki.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Treatment with an anti-CX3CL1 antibody suppresses M1 macrophage infiltration in interstitial lung disease in SKG mice.	Pharmaceuticals	20210517	Original Article
255	Mai Kawazoe, Mari Kihara, and Toshihiro Nanki.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Antirheumatic drugs against COVID-19 from the perspective of rheumatologists.	Pharmaceuticals	20211202	Review
256	Kaneko K, Chen H, Kaufman M, Sverdlow I, Stein EM, Park-Min K-H.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Glucocorticoid-induced osteonecrosis in systemic lupus erythematosus patients.	Clin Transl Med	20211001	Review
257	Eri Watanabe, Youhei Sugiyama, Hiroaki Sato, Toshiyuki Imanishi, Akinari Fukuda, Kenjiro Takagi, Tomoyuki Asano, Kiyoshi Migita, Toshihiro Nanki, Shigeru Kotake.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	An adult-onset Still's disease during pregnancy that delivered a neonate with hemophagocytic lymphohistiocytosis and severe liver failure requiring liver transplantation: A case report and literature review.	Modern Rheumatology Case Reports	20211214	Case report
258	Harada N, Kondo K (EC.), Terazono S, Uchino K, Fuchinoue Y, Sugo N (Co.)	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森)	The Diagnostic Value of 123I-IMP SPECT in Ocular Adnexal Lymphoma	International Ophthalmology	20211101	Original Article
259	Uchino K, Kondo K, Harada N, Aoki Y, Noguchi Y, Oishi H, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森)	A case of a ruptured aneurysm at the supracallosal portion (A4-A5) of the bihemispheric anterior cerebral artery treated with endovascular surgery.	journal of Neuroendovascular Therapy	20211001	Case report
260	Sugiyama K, Harada N, Kondo K, Wada A, Takahashi H, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森), 医学部 医学科 整形外科科学講座(大森)	Relationship between preoperative neuroradiological findings and intraoperative bulbocavernosus reflex amplitude in patients with intradural extramedullary tumors	Neurologia medico-chirurgica	20211201	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
261	Miyazaki C, Shimizu K, Nagasawa Y, Chiba T, Sakuma K, Aimoto M, Yamamoto T, Takahashi M, Sugo N, Takahara A, Shirai K	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(佐倉)	Effects of Enhanced Intracranial Pressure on Blood Pressure and the Cardio-Ankle Vascular Index in Rabbits.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	20211101	Original Article
262	Kubota S, Nemoto M, Sakaeyama Y, Nakada C, Mikai M, Fuchinoue Y, Kondo K, Harada N, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森), 医学部 医学科 脳神経外科学講座(佐倉)	Repeated Intracranial Empyema following Cranioplasty in a Patient with Atopic Dermatitis: A Case Report	Journal of Medical case Report	20210601	Case report
263	Yurika Ito, Mami Unagami, Fumito Yamabe†, Yoza Mitsui†, Koichi Nakajima†, Koichi Nagao†, Hideyuki Kobayashi†	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)	A method for utilizing automated machine learning for histopathological classification of testis based on Johnsen scores	Scientific Reports	20210510	Original Article
264	Yoza Mitsui*†, Hideyuki Kobayashi†, Fumito Yamabe†, Koichi Nakajima†, Koichi Nagao†	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)	ABO Blood Type and Risk of Peyronie's Disease in Japanese Males	The World Journal of Men's Health	20220100	Original Article
265	Eric Chung, Bang-Ping Jiann, Koichi Nagao, Lukman Hakim, William Huang, Joe Lee, Haocheng Lin, Dung Ba Tien Mai, Quang Nguyen, Hyun Jun Park, Yoshikazu Sato, Kavirach Tantiwongse, Yiming Yuan, Kwangsung Park	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)	COVID Pandemic Impact on Healthcare Provision and Patient Psychosocial Distress: A Multi-National Cross-Sectional Survey among Asia-Pacific Countries	World J Mens Health	20210521	Original Article
266	Motoki Adachi †, Takeya Adachi, Masaki Yokota†, Chika Ichimura †, Kenji Yoshida†, Ken Ishii†, Akira Ishiko†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	A case of vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis with toxic epidermal necrolysis-like symptoms: Palmoplantar eruptions as a possible risk marker	J Dermatol.	2021.12	Original Article
267	Motoki Adachi †, Takeya Adachi, Masaki Yokota†, Chika Ichimura †, Kenji Yoshida†, Ken Ishii†, Akira Ishiko†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	A case of vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis with toxic epidermal necrolysis-like symptoms: Palmoplantar eruptions as a possible risk marker.	Journal of Dermatology	20211200	Original Article
268	Jun Yamagami, Hideyuki Ujiiie, Yumi Aoyama, Norito Ishii, Chiharu Tateishi, Akira Ishiko†, Tomoki Ichijima, Shunsuke Hagihara, Koji Hashimoto, Masayuki Amagai	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	A multicenter, open-label, uncontrolled, single-arm phase 2 study of tirabrutinib, an oral Bruton's tyrosine kinase inhibitor, in pemphigus	Journal of Dermatological Science	2022.3	Original Article
269	W L Zhao, K Ishii†, S Egami, Z Xu, T Funakoshi H Takahashi, A Tanikawa, A Ishiko†, M Amagai, J Yamagami	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Analysis of clinical characteristics, prognosis and antibody pathogenicity of pemphigus patients positive for anti-desmoglein IgG autoantibodies in remission: a retrospective cohort study	J Eur Acad Dermatol Venereol	2022.2.	Original Article
270	W L Zhao, K Ishii†, S Egami, Z Xu, T Funakoshi H Takahashi, A Tanikawa, A Ishiko†, M Amagai, J Yamagami	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Analysis of clinical characteristics, prognosis and antibody pathogenicity of pemphigus patients positive for anti-desmoglein IgG autoantibodies in remission: a retrospective cohort study.	J Eur Acad Dermatol Venereol.	20220200	Original Article
271	Kenji Yoshida†, Eri Yoshihama†, Kaya Morii†, Akira Ishiko†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Blister fluid is a useful diagnostic tool for diagnosis of vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis	J Dermatol.	2021.11.	Original Article
272	Kenji Yoshida†, Eri Yoshihama†, Kaya Morii†, Akira Ishiko†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Blister fluid is a useful diagnostic tool for diagnosis of vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis.	Journal of Dermatology	20211100	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
273	Leonid Koikov, Renny J. Stamer, Viki B. Swope, Parth Upadhyay, Hashimoto Y†, Katie T. Freeman, James J. Knittel, Carrie Haskell-Luevano, and Zalfa A. Abdel-Malek	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Development of hMC1R Selective Small Agonists for Sunless Tanning and Prevention of Genotoxicity of UV in Melanocytes.	Journal of Investigative Dermatology	2021.7	Original Article
274	Fujita Y, Nohara T, Takashima S, Natsuga K, Adachi M, Yoshida K, Shinkuma S, Takeichi T, Nakamura H, Wada O, Akiyama M, Ishiko A†, Shimizu H	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Genetic advances in treating epidermolysis bullosa	J Eur Acad Dermatol Venereol	20210800	Original Article
275	Fujita Y, Nohara T, Takashima S, Natsuga K, Adachi M, Yoshida K, Shinkuma S, Takeichi T, Nakamura H, Wada O, Akiyama M, Ishiko A†, Shimizu H	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Intravenous allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring (Muse) cells in adults with dystrophic epidermolysis bullosa: A phase 1/2 open-label study.	J Eur Acad Dermatol Venereol,	20210800	Original Article
276	Ohshima H†, Kurosumi M, Kanto H†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	New solution of beauty problem by Staphylococcus hominis: Relevance between skin microbiome and skin condition in healthy subject.	Skin Res Technol	20210900	Original Article
277	Matsunaga Y†, Hashimoto Y†, Ishiko A.†	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Stratum corneum levels of calprotectin proteins S100A8/A9 correlate with disease activity in psoriasis patients	Journal of Dermatological	2021.10.	Original Article
278	Yukiko Matsunaga†,Yuki Hashimoto*†,Akira Ishiko† (Y.M. and Y.H. have contributed to this work equally as co-first authors.)	医学部 医学科 皮膚科学講座(大森)	Stratum corneum levels of calprotectin proteins S100A8/A9 correlate with disease activity in psoriasis patients.	Journal of Dermatology.	20211000	Original Article
279	Yukinobu Okajima,Takashi Suzuki,Chika Miyazaki,Satoshi Goto,Sho Ishikawa,Yuka Suzuki, Kotaro Aoki, Yoshikazu Ishii,Kazuhiro Tateda Yuichi Hori	医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Metagenomic Shotgun Sequencing Analysis of Canalicular Concretions in Lacrimal Canaliculitis Cases	Current issues in molecular biology	20210612	Original Article
280	Masakaze Hamada, Tetsuo Yamaguchi, Ayami Sato, Daisuke Ono, Kotaro Aoki, Chiaki Kajiwara, Soichiro Kimura, Tadashi Maeda, Masakazu Sasaki, Hinako Murakami, Yoshikazu Ishii, Kazuhiro Tateda	医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Increased Incidence and Plasma-Biofilm Formation Ability of SCC<I>mec</I> Type IV Methicillin-Resistant <I>Staphylococcus aureus </I>(MRSA) Isolated From Patients With Bacteremia	frontiers in Cellular and Infection Microbiology	20210526	Original Article
281	Toshiaki Ishii, Masakazu Sasaki, Kageto Yamada, Daiki Kato, Hiroyoshi Osuka, Kotaro Aoki, Toshisuke Morita, Yoshikazu Ishii, Kazuhiro Tateda	医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	Immunochemistry and chemiluminescent enzyme immunoassay for COVID-19 diagnosis	Journal of Infection and Chemotherapy	20210627	Original Article
282	Kageto Yamada, Masakazu Sasaki, Kotaro Aoki, Tatsuya Nagasawa, Hinako Murakami, Mayumi Ishii, Kazutoshi Shibuya, Toshisuke Morita, Yoshikazu Ishii, Kazuhiro Tateda	医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	<I>Pseudomonas tohoni</I> sp. nov., isolated from the skin of a patient with burn wounds in Japan	International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology	20211101	Original Article
283	Shirahige T, Tashiro M, Taguchi M, Miyazaki Y, Shibuya K†	医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Long-term trend in serum (1,3)- β -D-glucan level in a man with chronic disseminated candidiasis treated with corticosteroids	Journal of Infection and Chemotherapy	20210526	Case report
284	Sadamoto S, Mitsui Y, Nihonyanagi Y, Amemiya K, Shinozaki M, Murayama S, Abe M, Umeyama T, Tochigi N, Miyazaki Y, Shibuya K	医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Comparison Approach for Identifying Missed Invasive Fungal Infections in Formalin-Fixed, Paraffin-Embedded Autopsy Specimens.	J Fungi(Basel)	20220324	Others

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
285	Kurose Y†, Sano A†, Hiranuma A†, Nagashima M†, Sugiura Y†, Hiruta N†, Tochigi N†, Shibuya K†	医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(佐倉), 医学部 医学科 外科学講座(佐倉)	Lipoleiomyoma arising in soft tissue of the middle mediastinum.	Pathology International	20220100	Case report
286	Ichinoe M, Mikami T†, Yanagisawa N, Yoshida T, Hana K, Endou H, Okayasu I, Sengoku N, Ogata H†, Saegusa M, Shibuya K†, Murakumo Y.	医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Prognostic values of L-type amino acid transporter 1 and CD98hc expression in breast cancer	Journal of clinical pathology	20210900	Original Article
287	Wada A, Saito Y, Fujita S, Irie R, Akashi T, Sano K, Kato S, Ikenouchi Y, Hagiwara A, Sato K, Tomizawa N, Hayakawa Y, Kikuta J, Kamagata K, Suzuki M, Hori M, Nakanishi A, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Automation of a Rule-based Workflow to Estimate Age from Brain MR Imaging of Infants and Children Up to 2 Years Old Using Stacked Deep Learning.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine	20211200	Original Article
288	Murata S, Hagiwara A, Kaga H, Someya Y, Nemoto K, Goto M, Kamagata K, Irie R, Hori M, Andica C, Wada A, Kumamaru KK, Shimoji K, Otsuka Y, Hoshito H, Tamura Y, Kawamori R, Watada H, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Comparison of Brain Volume Measurements Made with 0.3- and 3-T MR Imaging.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine	20210700	Original Article
289	Kurokawa R, Kamiya K, Koike S, Nakaya M, Uematsu A, Tanaka SC, Kamagata K, Okada N, Morita K, Kasai K, Abe O.	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Cross-scanner reproducibility and harmonization of a diffusion MRI structural brain network: A traveling subject study of multi-b acquisition.	NeuroImage	20211215	Original Article
290	Hagiwara A, Otsuka Y, Andica C, Kato S, Yokoyama K, Hori M, Fujita S, Kamagata K, Hattori N, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Differentiation between multiple sclerosis and neuromyelitis optica spectrum disorders by multiparametric quantitative MRI using convolutional neural network.	Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia	20210500	Original Article
291	Koinuma T, Hatano T, Kamagata K, Andica C, Mori A, Ogawa T, Takeshige-Amato H, Uchida W, Saiki S, Okuzumi A, Ueno SI, Oji Y, Saito Y, Hori M, Aoki S, Hattori N	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Diffusion MRI Captures White Matter Microstructure Alterations in PRKN Disease.	Journal of Parkinson's disease	20211100	Original Article
292	Murata S, Hagiwara A, Fujita S, Haruyama T, Kato S, Andica C, Kamagata K, Goto M, Hori M, Yoneyama M, Hamasaki N, Hoshito H, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Effect of hybrid of compressed sensing and parallel imaging on the quantitative values measured by 3D quantitative synthetic MRI: A phantom study.	Magnetic resonance imaging	20210500	Original Article
293	Cohen-Adad J, Alonso-Ortiz E, Abramovic M, Arneitz C, Atcheson N, Barlow L, Barry RL, Barth M, Battiston M, Büchel C, Budde M, Callot V, Combes AJE, De Leener B, Descoteaux M, ..., Kamiya K, ..., Smith SA, Smith ZA, Solana E, Suzuki Y, Tackley G, Tinnermann A, Valošek J, Van De Ville D, Yiannakas MC, Weber KA 2nd, Weiskopf N, Wise RG, Wyss PO, Xu J.	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Generic acquisition protocol for quantitative MRI of the spinal cord.	Nature Protocols	20210816	Original Article
294	Koji Sohara, Tetsuro Sekine, Amane Tatenno, Sunao Mizumura, Masaya Suda, Takeshi Sakayori, Yoshiro Okubo, Shin-ichiro Kumita	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Multi-Atlas MRI-Based Striatum Segmentation for 123I-FP-CIT SPECT (DAT-SPECT) Compared With the Bolt Method and SPECT-Atlas-Based Segmentation Method Toward the Accurate Diagnosis of Parkinson's Disease/Syndrome	Frontiers in Medicine	20210525	Original Article
295	Maekawa T, Hagiwara A, Yokoyama K, Hori M, Andica C, Fujita S, Kamagata K, Wada A, Abe O, Tomizawa Y, Hattori N, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Multiple sclerosis plaques may undergo continuous myelin degradation: a cross-sectional study with myelin and axon-related quantitative magnetic resonance imaging metrics.	Neuroradiology	20210800	Original Article

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
296	Nakaya M, Kurokawa R, Kanemaru N, Sakamoto N, Nyunoya K, Joohyung Y, Kamiya K, Cho S, Fujita N, Kamio S, Koyama H, Suzuki S, Gonoï W, Abe O.	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Physiological 2-deoxy-2-[fluorine-18] fluoro-D-glucose accumulation in the thenar eminence in adults: a single-center retrospective study.	Annals of Nuclear Medicine	20211001	Original Article
297	Maekawa T, Hori M, Murata K, Feiweier T, Kamiya K, Andica C, Hagiwara A, Fujita S, Kamagata K, Wada A, Abe O, Aoki S.	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Time-dependent Diffusion in Brain Abscesses Investigated with Oscillating-gradient Spin-echo.	Magnetic Resonance in Medical Science	20210910	Original Article
298	Maekawa T, Kamiya K, Murata K, Feiweier T, Hori M, Aoki S.	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Time-dependent Diffusion in Transient Splenic Lesion: Comparison between Oscillating-gradient Spin-echo Measurements and Monte-Carlo Simulation.	Magnetic Resonance in Medical Science	20210601	Original Article
299	Goto M, Murata S, Hori M, Nemoto K, Kamagata K, Aoki S, Abe O, Sakamoto H, Sakano Y, Kyogoku S, Daida H	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Using modulated and smoothed data improves detectability of volume difference in group comparison, but reduces accuracy with atlas-based volumetry using Statistical Parametric Mapping 12 software.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987)	20210700	Original Article
300	Ogawa T, Hatano T, Kamagata K, Andica C, Takeshige-Amano H, Uchida W, Saito Y, Shimo Y, Oyama G, Umemura A, Iwamuro H, Ito M, Hori M, Aoki S, Hattori N	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	White matter alterations in Parkinson's disease with levodopa-induced dyskinesia.	Parkinsonism & related disorders	20210900	Original Article
301	Ogawa T, Hatano T, Kamagata K, Andica C, Takeshige-Amano H, Uchida W, Kamiyama D, Shimo Y, Oyama G, Umemura A, Iwamuro H, Ito M, Hori M, Aoki S, Hattori N	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	White matter and nigral alterations in multiple system atrophy-parkinsonian type.	NPJ Parkinson's disease	20211000	Original Article
302	Hori M, Hagiwara A, Goto M, Wada A, Aoki S	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Low-Field Magnetic Resonance Imaging: Its History and Renaissance.	Investigative radiology	20211100	Review
303	Hori M, Kamiya K, Murata K	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Technical Basics of Diffusion-Weighted Imaging.	Magnetic resonance imaging clinics of North America	20210500	Review
304	Adachi YU, Satomoto M†.	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Erector spinae plane block for back surgery	Journal of Anesthesia	20210917	Original Article
305	Echizen M, Satomoto M†, Miyajima M, Adachi Y, Matsushima E.	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Preoperative heart rate variability analysis is as a potential simple and easy measure for predicting perioperative delirium in esophageal surgery	Annals of Medicine and Surgery	20210913	Original Article

計 305件

(注) 1・当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2・報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
-----	--------	-----	----	------	-------	------

3・「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4・「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5・「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6・「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別

(注) 1・当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2・記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 委員会設置について、医学部長および病院長の責務について 倫理委員会の役割について、委員ならびに事務に従事する者の責務について 教育・研修について、申請の手続について、審査事項について、報告について 記録の保存について、審査結果等の公表について 実施状況の報告、調査・中止および変更命令について、臨時の専門部会の設置について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 設置について、目的について、構成員について、職務について、予算について、事務について、規程改定について	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
-----------------------	-----

・研修の主な内容

「APRIN e-ラーニングプログラム」 (W e b 講習につき受講は常時可能)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針および利益相反について」 (W e b 動画につき視聴常時可能)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

東邦大学医学部は「良き臨床医の育成」を学是としている。「良き臨床医」とは、患者さんを全人的にかつ高い技術と適切な態度で診ることができる医師と考えている。卒後2年間の初期臨床研修が修了し、3年目以降は各自それぞれの専門分野に所属し研修を行うが、この後期臨床研修は、将来の医師としての質を決定する重要な期間である。

当院では、卒後3年目以降は5年間のレジデント、さらに5年間のシニアレジデントの職位を設け、大学付属病院においては専門性を求めた研修を行い、教育関連病院においては、それぞれの科の一般性を軸とした研修を行うことにより、幅広くかつ専門性の高い両輪での教育を実践している。

現在、具体的な後期研修プログラムには19の基本領域の他、多数のコース（口腔外科含む）があり（<https://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/kouki/program.htm>）、臨床医としての基礎から専門性の高い領域までの教育が行われ、各分野の認定医・専門医・指導医などの資格を取得できる教育体制を整えている。もちろん、臨床のみならず、研究活動を同時に行い、学位を取得することも可能である。さらに、後輩の教育も重要な責務であり、医学生や研修医の教育を通じて、「良き臨床医」としての基盤を構築できる研修体制を確立している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	186.3 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

(2022.4.1 現在)

研修統括者	診療科	職位	臨床経験年数	特記事項
池田 隆徳	内科	教授	36	
松裏 裕行	小児科	教授	40	
石河 晃	皮膚科	教授	36	
根本 隆洋	精神科	教授	27	
船橋 公彦	外科	教授	36	
高橋 寛	整形外科	教授	34	
中田 雅彦	産婦人科	教授	32	
堀 裕一	眼科	教授	27	
和田 弘太	耳鼻咽喉科	教授	26	
中島 耕一	泌尿器科	教授	28	
周郷 延雄	脳神経外科	教授	34	
堀 正明	放射線科	教授	25	
武田 吉正	麻酔科	教授	35	
澁谷 和俊	病理診断科	教授	39	
盛田 俊介	臨床検査科	教授	38	

本多 満	救急科	教授	39	
荻野 晶弘	形成外科	教授	23	
大國 生幸	リハビリテーション科	准教授	25	
瓜田 純久	総合診療科	教授	37	
松田 尚久	消化器内科	教授	28	
池田 隆徳	循環器内科	教授	36	
岸 一馬	呼吸器内科	教授	32	
竹林 ちあき	血液腫瘍科	臨床准教授	26	
弘世 貴久	糖尿病・内分泌科	教授	37	
酒井 謙	腎センター	教授	36	
狩野 修	脳神経内科	教授	23	
南木 敏宏	膠原病科	教授	32	
船橋 公彦	消化器外科	教授	36	
伊豫田 明	呼吸器外科	教授	31	
藤井 毅郎	心臓血管外科	教授	32	
田井中 貴久	小児外科	准教授	23	
緒方 秀昭	乳腺・内分泌科	教授	34	
堀 正明	放射線科	教授	25	
寺原 敦朗	放射線科	教授	36	
端詰 勝敬	心療内科	教授	29	
田中 耕一郎	東洋医学科	准教授	20	
関谷 秀樹	口腔外科	准教授	30	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 輸液ポンプ等医療機器に関する研修・3日（計12回）・108名 ◇ BLS・AED研修（看護師）・5日（半日計10回）・103名 ◇ インフォームドコンセント：2日（半日4回）・97名 ◇ 看護倫理研修Ⅰ・2日（半日2回）・82名 ◇ がん看護基礎研修・63日（オンデマンド）（1時間45分）103名 ◇ 医療安全全体研修（医療安全・感染管理・医薬品・IC・医療の倫理・個人情報保護・医療機器（放射線被ばく）：第1回目 172日間、第2回目 70日間：2回、第1回目 2543人、第2回目 2347人
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ メンバーシップ研修：1日（135分×4回）・81名 ◇ コミュニケーション研修：2日（半日2回）・18名 ◇ プリセプター研修：1ヶ月（オンデマンド配信）・129名 ◇ 看護補助者研修（各種）：5日（半日7回）・100名 ◇ 看護管理者研修（各種）：1日（1h）・22名 ◇ クオリティマネジメント研修：37日間（オンデマンド22分）・110名 ◇ クオリティマネジメント研修Ⅰ（オンデマンド）医ガス・放射線：35日間：149名
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況）</p>
<p>・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 循環器疾患に関する高度かつ専門的な医療情報についての研修1日・2回 全体で50名（内レジデント10名・研修医7名） ◇ 第153回心臓の会：不整脈治療の最前線、2021.6.17、40名 ◇ 第154回心臓の会：ここまできている弁膜症治療、2022.1.27、40名 ◇ 東邦大学3病院合同医療安全研修（RCA、M&Mカンファレンス、臨床倫理）：1回・46名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 瓜田純久
管理担当者氏名	医療安全管理部・部長 前村俊満、感染管理部・部長 館田一博、薬剤部 副部長（部長代行 松本高広、臨床工学部 副技師長 新川英樹、総合相談部 部長 廣井直樹、中央放射線部 次長 武田稔之、医療情報管理センター 課長補佐 草道裕子、総務課 事務次長 平松武昌、人事課 課長 樋山恵、医事課 課長 原田将則、医事課 課長 涌井芳樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報管理センター
		処方せん	医療情報管理センター
		手術記録	医療情報管理センター
		看護記録	医療情報管理センター
		検査所見記録	医療情報管理センター
		エックス線写真	医療情報管理センター
		紹介状	医療情報管理センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課
		高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課
		閲覧実績	医療情報管理センター
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課及び医療安全管理部	
			<p>・書面綴りキャビネットでの施錠保管管理</p> <p>・電子保存およびターミナルデジット方式にて分類</p> <p>・診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定</p> <p>※診療録の学外への持出は原則禁止（「診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定」に準ずる）</p> <p>・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。</p> <p>・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。</p>

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部および中央放射線部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部および中央放射線部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部および中央放射線部			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部および総務課	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課及び感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報管理センター	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等管理部	
		監査委員会の設置状況	法人本部および病院総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合相談部	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部	
		職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部および総務課	
管理者が有する権限に関する状況	法人本部および総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部および総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部および総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部総務課 事務次長 平松 武昌
閲覧担当者氏名	事務部総務課 課長 安江 紀治
閲覧の求めに応じる場所	・個人情報管理室
閲覧の手続の概要 病院宛てまたは病院長宛の公文書(書面)による依頼・照会に基づき、閲覧の申込みを受け付ける。受け付けられた内容に対し、病院長が認めた内容について閲覧を実施する。 なお、閲覧は、管理部署(事務部総務課)職員ならびに関係の教職員が立ち会い、指定の閲覧場所(個人情報管理室)にて行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○ 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I 総則 II 組織および体制 III 医療安全管理委員会及び医療事故調査委員会等の設置 IV 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 V 職員研修 VI 医療事故への具体的対応・対策 VII 医療従事者と患者との情報共有 VIII 患者等からの苦情・相談への対応 IX 本指針の見直し 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（○有・無）【医療安全管理委員会】 ・ 開催状況：年 44 回（週1回） ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 重大な問題、医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合は、速やかに原因究明のための調査及び分析を行うこと。原因究明のための調査及び分析は、客観的事実から構造的原因を分析するものであり、個人の責任追及を行うものではないことに留意すること。 2) 分析の結果を活用した医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知を行うこと。医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知とは、組織としての改善方策を企画立案及び実施し、医療機関において情報を共有するものであること。また、改善方策は、背景要因及び根本原因を分析し検討された効果的な再発防止策等を含むものであること。 3) 改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しを行うこと。改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しとは、同様の事故等の発生状況の確認や、医療安全管理委員会の構成員が定期的に関係部署の巡回を行うなどをして調査を行い、必要に応じて医療安全の知見に基づいた見直しを行うものであること。 4) 必要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： ・ 研修の内容（すべて）：医療安全管理、感染管理、医薬品、産業保健、個人情報保護、インフォームドコンセント、医療機器、放射線防御、DPCについて、臨床倫理、BLSについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 全体研修（WEBセミナー）（2065名：7～8月） ・ 第2回 全体研修（WEBセミナー）（2075名：12～1月） 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（○有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内での医療事故やヒヤリハット、その他報告が必要な事象に遭遇した場 	

合インシデント・アクシデント支援システム（あんしん君）へ入力し、医

療安全管理部へ報告する。

入院患者の死亡・死産は、院内死亡報告として、院内報告システム（モニタ君）へ入力し、医療安全管理部へ報告する。

- 2) 管理者が定める22項目に該当する症例は、毎日報告（院長報告）として、院内報告システム（モニタ君）へ入力し、医療安全管理部へ報告する。その後、医療安全管理上の課題が認められる事例等は、関係者にMMカンファレンスの開催、また必要時、医療安全報告書の提出を求める。
- 3) 毎週開催される医療安全管理委員会において、あんしん君と毎日報告（院長報告）で報告され全事例を評価する。その内、改善が必要と思われる事例については、関係者へ改善策の策定を求める。院内で協議・調整が必要な改善策は、医療の質統括会議へ提出する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○ 有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>骨子「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指衛生及び感染予防策を徹底させる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策に関する基本的考え方 2. 感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項 3. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 他病院との連携に関する基本方針 7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8. その他の感染対策の推進のために必要な指針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：毎月1回定例として委員会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省・東京都等からの通達 ・ 感染症報告書の集計報告 ・ 主要菌サーベイランス報告 ・ 抗菌薬使用状況、耐性菌発生件数報告 ・ ICTラウンド結果報告 ・ 耐性菌警告書発行報告 ・ マニュアル改定・作成報告 ・ 研修報告 <p>・ 感染防止対策加算における連携に関する活動報告等を行い、院内感染上問題となる状況やその徴候について審議。また、衛生委員会、医療安全管理部と連携し、感染対策の推進を図っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年18回

- ・ 研修の内容（すべて）：
 - ・ 全職員対象とした全体研修を年2回実施
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の研修
 - ・ 新規採用者対象の院内感染の基礎知識等
 - ・ 微生物検査の提出と結果の解釈
 - ・ 感染症診療の基本とTDM・届出
 - ・ 結核画像診断・空気感染予防策
 - ・ 静脈注射研修
 - ・ 耐性菌伝播予防策の知識の習得
 - ・ PPE着脱研修

③ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備（○有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 各検査部における各種耐性菌の早期発見
 - ・ 電子カルテシステムを利用した感染情報の共有
 - ・ 臨床現場における感染予防策の徹底と耐性菌警告文書の発行
 - ・ 各種サーベイランスの実施
 - ・ 病棟・外来・その他施設の環境ラウンド及び耐性菌検出患者のラウンドの実施
 - ・ 抗菌薬適正使用の教育・推進活動
 - ・ 感染対策関連マニュアルの見直しと改訂

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○ 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報 ・ 使用方法に関する事項 ・ 業務手順書に関する事項 ・ 副作用が発生した場合の対応に関する情報 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の業務手順書の作成 ・ 医薬品の安全使用のための研修 ・ 業務手順書に基づく実施状況の確認・記録 ・ 改善のための方策の実施 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) : なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>1) PMDAおよび製薬企業からの医薬品安全情報を速やかに伝達 (お知らせの配布・院内ネット (メール配信) の利用・会議報告)。</p> <p>2) クオリティマネージャー会議等を通じて報告内容を全職員に閲覧し周知を図っている。</p> <p>3) 院内副作用報告は医薬品情報室で一元化し、薬事委員会で報告後職員にも情報を発信している (14件)。</p> <p>以上の情報は、院内イントラネットで職員が全て随時入手できる体制となっている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年177回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 除細動器の院内配置と使用時の留意点について講義 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 放射線治療装置の操作、注意事項についての講義 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義 	
② 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 外部委託（メーカー）定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置、除細動器 ・ 院内実施定期保守：輸液・シリンジポンプ、血液浄化装置、除細動器 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 病棟・外来用心電図モニターデータ保存手順の改定 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	○有・無
<p>・責任者の資格（○医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全・医療の質に関わる担当者を配置し、当院の医療安全を統括する。 当院では安全担当副院長がその役割を担う。 毎週開催される医療安全管理委員会に、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者等が参加し、各担当業務の状況を医療安全管理責任者に報告している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有（8名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>・医薬品安全管理責任者は、医療法施行規則第9条20の2第3項第3号イ、ロに掲げる措置を適切に実施するとともに、その担当者に医療安全管理室専従の薬剤師を配置している。</p> <p>・医療安全管理室専従の薬剤師を活用し、新規採用職員・中途採用職員に対する医薬品安全使用のための教育を実施している。</p> <p>・医薬品に関する情報の収集・整理は、医薬品情報室に行わせる。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>・医薬品安全管理責任者は医療安全管理室専従薬剤師に指示し、各部署からの未承認や適応外・禁忌に使用する医薬品情報を収集し報告を受ける。医療安全管理室専従薬剤師は医療安全管理委員会にて報告を行う。これらの報告から医薬品安全管理責任者は、必要に応じ医薬品の適正使用にかかる注意喚起（禁忌等や緊急安全性情報等）を院内全体に行わせ、必要に応じ手順の見直しを行っている。</p> <p>・担当者の指名の有無（○有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 薬剤師） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：医療安全への報告事例において適格な説明がなされているかその都度カルテにて確認している。説明において必須の内容が記載されていない場合は、その都度担当医に連絡し記載をするよう指導している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>全退院患者の診療録・診療諸記録について確認を行う〔量的監査〕と全診療科の診療録・診療諸記録について確認を行う〔質的監査〕にて診療録等の記載内容を確認している。記載内容の監査については、以下の項目を中心に「診療録・診療諸記録監査マニュアル」に則って確認を行い、不備等があれば当該診療責任者と記載医へ通知を行っている。</p> <p>○確認項目：診療記録（検閲状況・経過記録の適時記載等）、インフォームド・コンセント、カンファレンス記録、手術記録、退院サマリー、書類（入院診療計画書・検査等承諾書・手術承諾書・麻酔承諾書）</p> <p>【主な指導（通知）内容】</p> <p>各項目の未記載・不備、病名の訂正・追加、日付の誤り、略語の訂正、ICや書類の不備 等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	○有・無
<p>・所属職員：専従（12）名、専任（ ）名、兼任（11）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>1)安全管理に関する基本的考え方や組織に関する基本的事項について明示した安全管理のため指針の策定に関すること</p> <p>2)インシデント及びアクシデントの実態の把握と、その背景要因の分析と評価に関すること</p> <p>3)「医療の質」の向上に関すること</p>	

- 4) 院長報告基準に該当する事例が発生した場合、診療録その他の記録等が正確かつ十分になされていることの確認及び指導、事例の記録、保管に関すること
- 5) 事故発生時の患者や家族の説明など対応状況についての確認、及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び、指導に関すること
- 6) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び、職員の医療の安全に関する意識の向上の状況を確認し記録すること
- 7) 医療安全に関わる連絡調整に関すること
- 8) 医療の質統括会議の記録事務に関すること
- 9) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援すること
- 10) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策に関すること
- 11) 安全管理に関わる研修会の企画・運営に関すること
- 12) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会庶務に関すること
- 13) 安全文化の醸成に関すること
- 14) その他医療安全の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（4件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（○有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（○有・無）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術の導入を行う際には、各診療科から書類で高難度新規医療技術管理部門に申告する。高難度新規医療技術管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は管理部門とは独立しており、導入の可否、導入の方法を審議しその結果を管理部へ報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会の審議結果を含めて病院長に報告し、最終的な導入の決定を行う。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（○有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（○有・無）

⑧未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（未承認 0 件、適応外 26 件）、及び許可件数（未承認 0 件、適応外 26 件）

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（○有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（○有・無）
- ・ 活動の主な内容：

国内未承認の医薬品・医療機器及び保険適応外の目的で使用する際には、各診療科から書類で未承認新規医薬品等管理部に申請を行う。未承認新規医薬品等管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は使用の可否を検討し管理部へ検討結果を報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会での結果を評価し、最終的な使用開始の決定を行う。使用を認めた医薬品や医療機器について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかをモニタリングし評価する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（○有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（○有・無）

⑨入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 472 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 360 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

（入院患者が死亡した場合の報告事項）

名称：院内死亡報告

システム：モニタ君

報告内容：入院患者の死亡および死産

対応：担当医は、入院患者の死亡および死産を、医療安全管理部へ報告する。医療安全管理部は、死

亡・死産症例の診療記録を確認し、予期せぬ死亡かどうか、医療行為に起因するかどうかを確認する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

(入院患者の死亡以外の水準)

名称：毎日報告（院長報告）

システム：モニタ君

報告内容：濃厚な処置や治療が必要となる(3b以上となり得る)22項目を院長が設定、毎日病棟等関係部署より発生があったかどうか、あった場合は項目番号が医療安全管理部へ報告される。

対応：医療安全管理部内で毎日、現病等による病状の悪化か、予期したものか、加えられた追加治療は何か、3b以上であるか、等を検討する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

⑩他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（○有（病院名：福岡大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（○有（病院名：福岡大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

令和3年度ピアレビューはCOVID-19のため書面でのレビューとした。

公益通報窓口を組織外に設置することを引き続き検討すること・・・法人本部と共に引き続き検討する

⑪当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

窓口の名称：総合相談・がん相談支援センター

相談日・時間：月曜日から金曜日 9:00 から 17:00

土曜日 9:00 から 14:00

(祝日・第3土曜日・年末年始・創立記念日 6/10 は除く)

責任者氏名：廣井直樹(医師)

(活動状況等)

●患者等への明示方法

- ・ポスターを1号館・2号館・3号館・5号館入り口付近、各科外来、検査施設等、

全病棟に掲示し案内している。

- ・ 病院リーフレット「総合相談のご案内」を配布用として9か所に配置している。
 - ・ 入院受付で配布している「入院のご案内」に掲載している。
 - ・ 総合相談部入口横にカウンターを設け積極的に対応を行っている。
 - ・ 院内案内図「A0(総合相談部)」場所(窓口)を案内している。
 - ・ ホームページに総合相談部の「主な活動」「相談内容」などを掲載している。
- 患者等が不利益を受けないよう適切に配慮の具体的方策
- ・ 東邦大学医療センター大森病院 総合相談部規約第14条(相談情報の秘密保護)の規定順守。
 - ・ ポスター、リーフレット、ホームページに「個人情報厳守し、不利益が生じないように配慮しています」と記載している。
- 相談窓口以外の相談方法
- ・ ご意見箱の設置(22か所)
 - ・ 電話相談
 - ・ 大森病院ホームページ上にご意見・お問い合わせを受け取れる
 - ・ 入力フォームの設置

⑫職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
 - ・ 年2回全体研修 Web セミナー(医療安全・感染管理・医薬品・IC・医療の倫理・個人情報保護・医療機器、放射線被ばくなどについて)
 - ・ 新入職者・研修医オリエンテーション
 - ・ 研修医対象医療安全研修(3回)
 - ・ 東邦大学3病院合同医療安全研修(クオリティマネジャーを対象に医療安全・臨床倫理)
 - ・ クオリティマネジメント研修I(オンデマンド講習)医ガス・放射線
 - ・ CVC挿入認定医研修(2回)
 - ・ CVCインストラクター指導医養成研修会

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の

実施状況

・研修の実施状況

管理者（病院長）

【研修案内】令和3年12月23日

【研修内容】2021年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療評価機構

医療安全管理責任者

【研修案内】令和3年12月15日

【研修内容】2021年度 特定機能病院管理者養成研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療評価機構

医薬品安全管理責任者

【研修案内】令和3年11月10日

【研修内容】2021年度 特定機能病院管理者養成研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療評価機構

医療機器安全管理責任者

【研修案内】令和3年11月22日

【研修内容】2021年度 特定機能病院管理者養成研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療評価機構

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

◇ 日本医療機能評価機構 一般病院3 機能種別版評価項目3rdG : Ver. 2.0

（令和3年 1月20日・21日・22日 受審済み）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

指摘なし

・評価を踏まえ講じた措置

なし

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>東邦大学医学部附属病院長選任規程（内規）（令和3年1月1日 一部改訂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機能病院の被選任権者については前項に加え医療の安全の確保のために必要な資質及び能力（医療安全管理業務の経験や患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を含む）及び組織管理能力等の当該病院を管理運営する上で必要な資質及び能力（当該病院内外での組織管理経験を含む）を有する者とする。また、選考に当たって、選考委員会は、求める資質及び能力についてあらかじめ当該病院のホームページに公表しなければならない。 ・ 医療安全管理者業務の経験とは、各号のいずれかの業務に従事した経験を有する者とする。 <ol style="list-style-type: none"> （1）医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 （2）医療安全管理委員会の構成員としての業務 （3）医療安全管理部門における業務 （4）その他上記に準じる業務 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・○無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ○有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p> 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
炭山 嘉伸	理事長	○	選任規程による	○有・無
白井 久己	常務理事		選任規程による	○有・無
中村 俊一郎	常務理事		選任規程による	○有・無
高松 研	学長		選任規程による	○有・無

盛田 俊介	医学部長		選任規程による	○有・無
五十嵐 良典	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
渡邊 善則	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
中島 耕一	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
田中 耕一郎	病院所属の准教授		選任規程による	○有・無
木内 俊介	病院所属の講師		選任規程による	○有・無
小林 七郎	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無
川村 雅文	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		○有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 <p>診療部委員会（病院意思決定機関）で、病院の運営方針、中期計画、予算及び決算などを審議する。</p> ・ 審議の概要の従業者への周知状況 <p>会議の議事録等は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 <p>内部規程は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・○無 ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
診療部委員会名簿 別紙参照			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ）
- ・ 公表の方法
病院ウェブサイト（<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/tokutei.html>）
および院内細則
- ・ 規程の主な内容
管理者が病院の管理・運営に必要な指導力を発揮できる内容、有する権限を記載している。
<一部抜粋>
管理者は、前項に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項に関する職務を行う。
 - （1）医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保
 - （2）高度かつ先進的な医療の提供
 - （3）病院組織の総合的な状況把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営
 - （4）高度の医療技術の研究、開発及び評価
 - （5）学生、医師、関連医療職の医療に関する教育及び研修等の実施
 - （6）地域医療機関との連携
 - （7）診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理
 - （8）病院に関する経営情報等の把握と経営状況の改善
 - （9）病院情報システムの管理
 - （10）病院の個人情報の管理
 - （11）病院の事業計画、中期計画、予算の策定及び管理
 - （12）病院の施設整備及び改善
 - （13）病院に勤務する職員の労働環境及び労働条件の改善
 - （14）理事会への病院部門の意向提言及び病院職員への経営方針等重要事項の周知
 - （15）理事長から特別に委任された事項
 - （16）その他の病院運営に関する重要な事項
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙参照（執行部担当表）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内研修として、将来構想若手勉強会の開催
外部研修として、医事研究会、医療安全研修などへ参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	○有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p style="padding-left: 20px;">◇委員会は、当該病院における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について、管理者等から報告を求め、または必要に応じて自ら確認を実施する。医療安全に関する研修報告、事故事例報告、医療安全運営改善報告などがこれにあたる。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p style="padding-left: 20px;">病院ウェブサイトにて公開 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士（東京弁護士会）		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHK チーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
高松 研	東邦大学 学長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学 医学部 学部長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容

法人本部監査室

- ・ 専門部署の設置の有無 (有・無)

- ・ 内部規程の整備の有無 (有・無)

- ・ 内部規程の公表の有無 (有・無)

- ・ 公表の方法

学内ポータルサイト

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <ul style="list-style-type: none"> ◇理事会（法人） <ul style="list-style-type: none"> 理事会は、病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ○有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイト 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
理事会名簿 別紙参照			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (令和 3 年度 : 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 全体研修および各種会議にて報告、院内通知文での発信

診療部委員会 委員会名簿

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	藤井 毅郎	中央診療部門	大動脈センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	岡野 直樹	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	島田 長人	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	松田 尚久	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	武田 吉正	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	永井 英成	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	船橋 公彦	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	輸血部
委員	松本 高広	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷺澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	渋谷 和俊	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高橋 寛	中央施設部門責任者	メディカルフォトセンター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	中島 耕一	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	南木 敏宏	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	狩野 修	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	大島 勝	事務部長	事務部長
委員	前村 俊満	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	廣井 直樹	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	並木 温	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

診療部委員会 委員会名簿

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	藤井 毅郎	中央診療部門	大動脈センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	岡野 直樹	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	島田 長人	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	松田 尚久	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	武田 吉正	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	永井 英成	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	船橋 公彦	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	輸血部
委員	松本 高広	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷺澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	渋谷 和俊	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高橋 寛	中央施設部門責任者	メディカルフォトセンター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	中島 耕一	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	南木 敏宏	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	狩野 修	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	大島 勝	事務部長	事務部長
委員	前村 俊満	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	廣井 直樹	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	並木 温	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

執行部担当表(2021.8.修正版)

職名	氏名	所属		担当	主催会議・委員会(規約要件)
病院長	ウリタ ヨシヒサ 瓜田 純久	総合診療内科	教授		01 病院運営審議会 04 院内選考委員会 07 医療の質統括会議 13 薬事委員会 14 新規診療材料購入委員会 37 心肺蘇生委員会 41 ホランティアコーディネート委員会 35 臨床修練委員会
副院長	フナハシ キミヒコ 船橋 公彦	消化器外科	教授	◎安全管理統括 ○医療安全・医療の質 ◎教育統括 ◎病床運営 ○中央手術部運営	07 医療の質統括会議 09 医療安全管理委員会 52 特定行為業務管理委員会 10 がんセンター運営委員会 8 中央手術部運営委員会
副院長	サカイ ケン 酒井 謙	腎センター	教授	◎診療・当直関係 ◎院内感染統括 ◎労働安全衛生統括 ◎病院機能評価受審関	04 院内選考委員会 013 院内感染対策委員会 26 働き方改革検討委員会 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 42 衛生委員会 46 院内清掃環境委員会 16 栄養委員会 ※ 将来構想委員会
副院長	ナカジマ コウイチ 中島 耕一	泌尿器科	教授	◎業務管理統括 ◎地域連携・救急 ○病床調整 ◎ハラスメント ○労働安全衛生 ◎予算	18 臨床検査検討委員会 20 地域医療支援センター運営委員会 47 広報委員会 ○羽田診療を含む 26 働き方改革検討委員会(運審推薦:外科) ※ 医学部予算委員会
副院長	オハラ マサコ 小原 雅子	看護部	部長	◎看護担当 ◎病床運営 ◎特定行為関係	4 看護師長会議 43 レクリエーション委員会 52 特定行為業務管理委員会
院長補佐	スゴウ ノブオ 周郷 延雄	脳神経外科	教授	◎業務関係 ◎検診関係 ・放射線安全管理	2 医局長会議 3 業務管理会議 24 輸血療法委員会 21 検診センター運営委員会
院長補佐	ナンキ トシヒロ 南木 敏宏	膠原病科	教授	◎倫理関連 ◎国際医療支援統括	02 大森病院倫理委員会 18 先進医療委員会 19 TDM委員会 05 治験審査委員会 50 国際医療支援部運営委員会
院長補佐	ホリ ユウイチ 堀 裕一	眼科	教授	◎教育関連 ◎外来・病棟運営 ◎保育園運営	33 院内教育委員会 34 院内研修運営委員会 35 臨床修練委員会 36 研修管理委員会 40 「からだのとしよしつ」運営委員会 6 外来運営委員会 7 病棟運営委員会 ※ 保育園運営委員会
院長補佐	マエムラ トシミツ 前村 俊満	医療安全管理部	准教授	◎医療安全 ◎総合相談	9 医療安全管理委員会 12 総合相談部運営委員会 38 患者サービス・サポート委員会
院長補佐	タカイ ユウジロウ 高井 雄二郎	呼吸器内科	准教授	◎個人情報	11 未承認新規医薬品等評価委員会 25 個人情報保護委員会 15 クリニカルパス委員会 28 電子情報委員会
院長補佐	ミヤザキ タイト 宮崎 泰斗	感染管理部	院内講師	◎感染管理	013 院内感染対策委員会
事務部長	オオシマ マサル 大島 勝	事務部	部長	◎事務部管理	5 事務部課長会議 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 32 防災対策委員会

学校法人東邦大学 役員（理事・監事）名簿

令和4年9月1日現在

理事長	炭山 嘉伸
常務理事	白井 久己
常務理事	中村 俊一郎
理事	高松 研
理事	盛田 俊介
理事	田中 芳夫
理事	古田 寿昭
理事	岸 恵美子
理事	瓜田 純久
理事	小家 一彦
理事	岩渕 聡
理事	多田 周右
理事	酒井 康弘
理事	額田 均
理事	加藤 裕芳
理事	吉田 茂雄
理事	大島 範子
監事	西込 明彦
監事	山田 眞之助

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	○有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>◇ 地域連携学術セミナーを年1回開催し、当院の診療内容・方針を理解していただき、地域医療機関との医療連携促進に役立てているが、前年度は新型コロナウイルス感染対策により集会形式での開催は中止とした。しかしながら、参加者向けの講演者動画を撮影・配信した。</p> <p>◇ 公開講座を実施し、一般の方に対して、広く情報発信を行っている。年間10回開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染対策のため開催は中止した。</p> <p>◇ 広報誌「おかげさん」を年4回発行し、当院の診療科医師などの紹介、診療内容について広く情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>◇ 組織横断的なチームを形成することで、複数の診療科・多職種の職員が連携して、従前より診療対応に当たっている。呼吸ケア、褥瘡ケア、認知症ケアチーム、周術期センター等がこれにあたる。</p>	